Pioneer

DVD プレーヤー

DV-S838A

取扱説明書

メールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての「お客様オンライン登録」をお願いいたします。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。
上記URLからメールサービスにもご登録いただきますと各種製品情報をはじめ、
キャンペーン/イベント情報等のご案内をさせていただきます。
(iモード及び一部のインターネット対応携帯電話からもご利用いただけます。)

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告[異常時の処理]

プラグを抜く

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

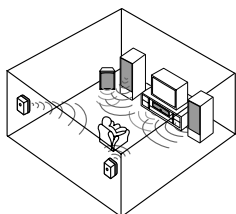
もくじ

お使いになる前に

こんなことができます

❖ 映画館のような迫力のあるサウンドが味わえるDVDオーディオ、ドルビーデジタル*1/DTS*2/MPEGデコーダー内蔵の高音質オーディオシステム

DIGITAL dts SURROUND

本機はDVDオーディオの高音質を再生可能にする192kHzサンプリング/24bitのDAC(デジタル/アナログコンバーター)を採用しています。
5.1チャンネルアナログ音声出力端子を装備し、さらにドルビーデジタルデコーダー、DTSデコーダー、およびMPEGデコーダーを内蔵しています。5.1チャンネル音声入力端子を持ったAVアンプなどと接続して映画館のような臨場感ある音声をお楽しみいただけます(P.18)。

❖ プログレッシブ出力を備えた高品位映像システム

本機は525pの周波数の映像信号を出力するプログレッシブスキャン(順次走査)出力端子を装備しています。コンポーネント映像入力を持ったプログレッシブ(525p)入力対応テレビに接続すると、従来のテレビ方式であるインターレーススキャン(飛び越し走査)よりも2倍の情報量の、きめ細かな映像を再生します(P.19, 60)。
また、このプログレッシブ方式を利用して、DVDビデオ映画の再生に、オリジナルソースに忠実な画質を再現する「ピュアシネマ」モードを採用しています(P.34)。

❖ DNR内蔵ビデオエンコーダーを採用

本機は高画質DNR(デジタル・ビデオ・ノイズリダクション)内蔵のビデオエンコーダー(VQE：Video Quality Enhancer)を採用し、きめ細かな画質調整を行います。3種類の画質設定(テレビ(CRT)、プロジェクター、プロフェッショナル)を選択することができ、さらにお好みに調整した画質を記憶することができます(P.32)。
また映像出力端子(2系統)、S映像出力端子(2系統)、DVD本来の高画質を引き出すコンポーネント映像出力端子(1系統)、およびD2映像出力端子を装備しています。

❖ DVD-RWディスク対応

DVDレコーダーで記録されたディスクを再生することができます(P.6)。

❖ セットアップナビゲーション付きGUI

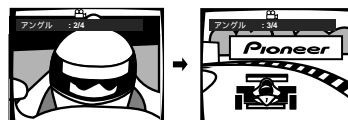
複雑な設定を、画面に表示される質問に答えていくだけで簡単に設定できるセットアップナビゲーター機能を搭載しています。お手持ちのテレビやAVアンプなどに最適な設定を簡単に行うことができます(P.21)。

❖ 充実した特殊再生

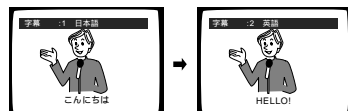
本機ではDVDビデオやビデオCDの再生速度を様々に変えることができます。前方向、逆方向のスロー再生、高速再生(スキャン)コマ送り再生をスムーズな映像でお楽しみいただけます。
マルチダイヤルを使うと1/16倍速のスロー再生から高速再生(スキャン)まですばやく変えることができます(P.35, 36)。

❖ お好みのアングルが選択できます

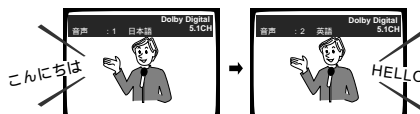
DVDに収録された複数のアングルから、お好きなアングルを選択することができます(P.48)。

➡

❖ お好みの字幕言語が選択できます

DVDに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選択することができます(P.48)。

➡

❖ お好みの音声言語が選択できます

DVDに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます(P.49)。

➡

❖ 省エネルギー設計

本製品は待機時消費電力を1W以下に抑えた設計になっています。

---

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

*2 DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。

本機の取り扱いのご注意

■ 再生中は本機を絶対に動かさない
再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■ 本機を移動する場合
本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに ⏻ **スタンバイ / オンボタン**を押し、表示窓の "**--OFF--**" 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合せて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■ 次のような場所は避けてください
- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

■ 上に物をのせない
本機の上に物をのせないでください。

■ 熱を受けないように
本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

■ ガラスドア付きラックに入れたときのご注意
ラックのガラスドアを閉めたままリモコンの**オープン/クローズ(⏏)ボタン**を押して、ディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられ、故障の原因になります。

■ 本機を使わないときは電源を切る
テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

- 下表に表示されているマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

*1 **DVD-RW ディスクの再生について**
- 本機はDVDレコーダーでビデオレコーディングフォーマット記録された DVD-RW ディスクを再生することができます。
- 1 世代のみコピーすることを許可された映像素材を録画した DVD ディスクはこのプレーヤーでは再生できません。
- DVD レコーダーで編集した箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬画面が静止画になることがあります。これは故障ではありません。
- DVD レコーダーで録画、または編集したディスクを再生すると編集位置が多少ずれることがありますが、これは故障ではありません。
- タイトル名は最大 20 文字まで表示することができます。

*2 **CD-R ディスク / CD-RW ディスクの再生について**
- 本機では、再生だけの機能となります。
- 本機は音楽用のＣＤフォーマットで記録されたＣＤ－Ｒディスク/ＣＤ－ＲＷディスクを再生することができます。ただし、使用するディスクがファイナライズ*されていないとき、または録音したレコーダーの記録特性やディスクの特性・傷・汚れ・本機のピックアップのレンズ汚れ/結露等により、再生できない場合があります。
  * 詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読みください。

*3 (株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです(**P.43**)。

■ 本機で再生できないディスクの種類

- リージョンが **「2」「ALL」** 以外の DVD ビデオ
- DVD-ROM • DVD-RAM
- CD-ROM • フォト CD • CD-G など

ご注意：
- ファイナライズしていない DVD-RW ディスクは再生できない場合があります。
- 8cmアダプター(CD用)はお使いにならないでください。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

マーク	意味
②	音声の数を表わします。
2	字幕言語の数を表わします。
3	アングル数を表わします。
16 : 9 LB	選択可能な画像アスペクト比を表わします。
2 / ALL	再生可能な地域番号を表わします。本機は地域番号「2」が含まれているディスク、または「ALL」と表記されたディスクの再生ができます。

ディスクの操作について

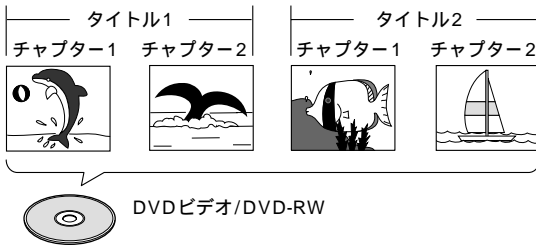
DVD では、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスク禁止マーク」を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止マーク」を表示します。

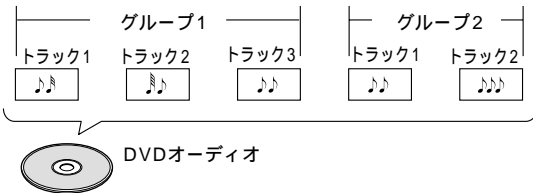
ディスク禁止マーク

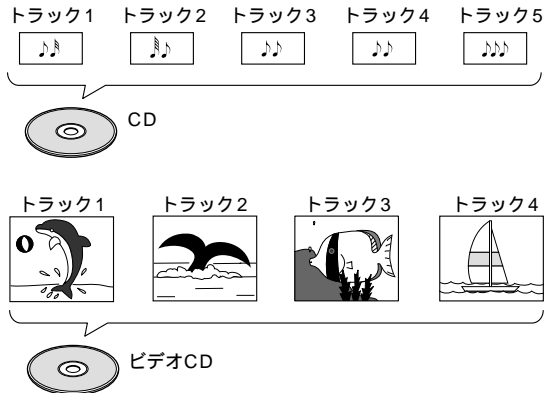
プレーヤーによる禁止マーク

ディスクの構成について

DVD VIDEO　DVD-RW

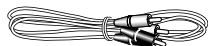
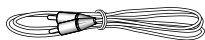
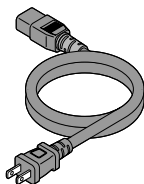
DVD ビデオ、または DVD-RW では、ディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、DVD ビデオの中にはメニュー画面を持つものがあります。メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう 1 つの映画が 1 つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは 1 曲が 1 タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。

DVD AUDIO

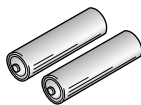
DVD オーディオではディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。(一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。また、ディスクによっては DVD ビデオのようなメニュー画面や映像が記録されているものもあります。

CD　VIDEO CD

CDやビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています（一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

お使いになる前に

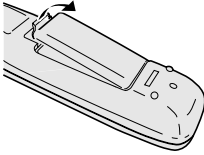
付属品の確認

箱から出したら次の付属品がそろっているかを確認してください。

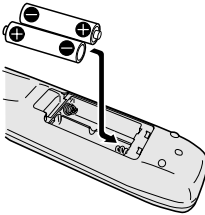
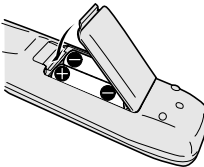
・ 音声ケーブル

・ 映像ケーブル

・ 電源コード

・ リモートコントロールユニット

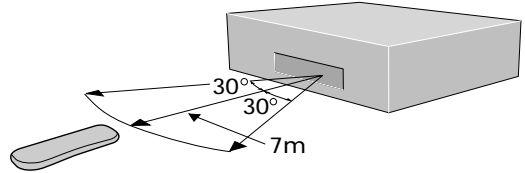
・ 単3形乾電池（R6P・2本）

・ 保証書
・ 安全上のご注意
・ ご相談窓口・修理窓口のご案内
・ 取扱説明書（本書）

リモコンに乾電池を入れる

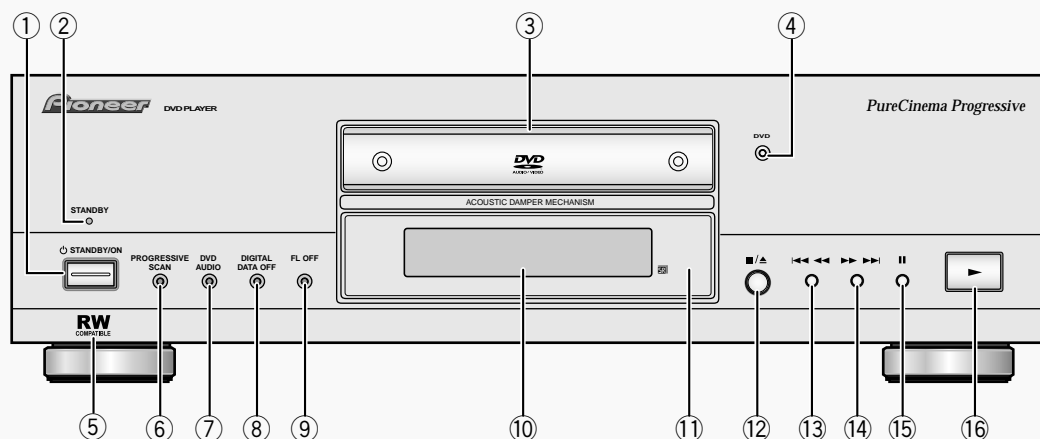
1 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く

2 ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる

3 フタを矢印の方向に閉める

ご注意：
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使用範囲

- リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約7m、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。
- 後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されているとき(**P.12**)は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。

ご注意：
リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。

各部の名称とはたらき

本体正面

① ⏻ **スタンバイ/オンボタン**
電源をオン/オフします(**P.25, 30**)。

② **スタンバイインジケーター**
電源が入ると消灯します。電源が待機状態になると点灯します。

③ **ディスクテーブル**
ディスクを出し入れするときに、⑫停止(■)/オープン・クローズ(⏏)ボタンで開閉します(**P.25, 30**)。

④ **DVDイルミネーション**
DVDビデオ、またはDVDオーディオを再生したとき点灯します。DVD以外のディスクを再生したときは点灯しません。

⑤ DVDレコーダーでビデオレコーディングフォーマット記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示します。

⑥ **PROGRESSIVE SCANインジケーター**
映像出力でプログレッシブが選ばれているときに点灯します(**P.19, 60**)。

⑦ **DVD AUDIOインジケーター**
DVDオーディオが再生されているときに点灯します。

⑧ **DIGITAL DATE OFFインジケーター**
デジタル音声出力をオフに設定したときに点灯します。

⑨ **FL OFFインジケーター**
本体表示部を消灯すると点灯します。リモコンのディマーボタンで表示窓の明るさを調整できます(**P.14**)。

⑩ **表示窓**
本機の動作状況を表示します(**P.11**)。

⑪ **リモコン受光部**
リモコンの信号を受けます(**P.9**)。

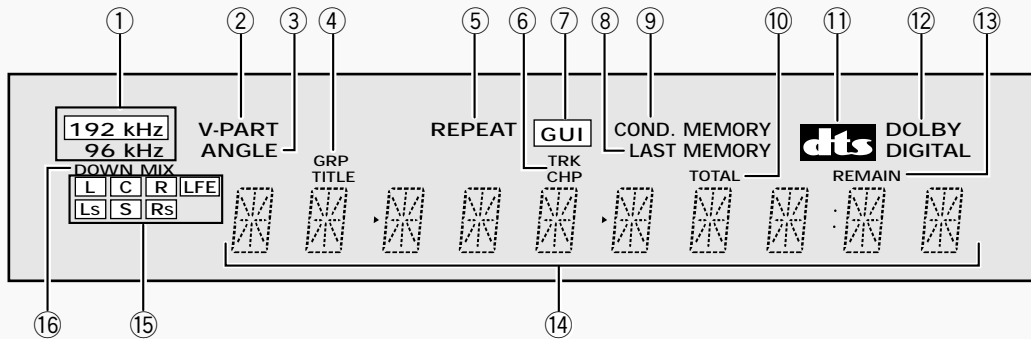
⑫ **停止(■)/オープン·クローズ(⏏)ボタン**
ディスクの再生を止めます。停止中に押すと、ディスクテーブルを開閉します(**P.25, 30**)。

⑬ **スキャン/前(⏮ ◀◀)ボタン**
映像や音声を早戻し、または頭出しをします(**P.28**)。

⑭ **スキャン/次(▶▶ ⏭)ボタン**
映像や音声を早送り、または頭出しをします(**P.28**)。

⑮ **一時停止(II)ボタン**
再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します(**P.37**)。もう一度押すと再生を再開します。

⑯ **再生(▶)ボタン**
ディスクを再生します(**P.25, 29**)。

本体表示窓

① **192kHz/96 kHz**
リニアPCM音声で収録されているディスクを再生しているときにサンプリング周波数を表示します。

② **V-PART**
DVDビデオまたはDVDオーディオの再生中、映像信号のある場面で点灯します。

③ **ANGLE**
DVDを再生しているとき、アングル変更が可能な場面で点灯します(**P.48**)。

④ **GRP/TITLE**
グループ/タイトル番号を表示しているときに点灯します(DVDのみ)。

⑤ **REPEAT**
リピート再生中に点灯します(**P.38**)。

⑥ **TRK/CHP**
トラック/チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑦ **GUI**
初期設定画面など本機の画面表示がされているときに点灯します(**P.21, 53**)。

⑧ **LAST MEMORY**
ラストメモリー機能が働いているときに点灯します(**P.44**)。

⑨ **COND. MEMORY**
コンディションメモリー機能が働いているときに点灯します(**P.45**)。

⑩ **TOTAL**
タイトル、チャプターまたはトラックの総再生時間が表示されているときに点灯します(**P.52**)。

⑪ **dts**
DTS音声で収録されているディスクを再生しているとき点灯します。

⑫ **DOLBY DIGITAL**
ドルビーデジタル音声で収録されているDVDを再生しているとき点灯します。

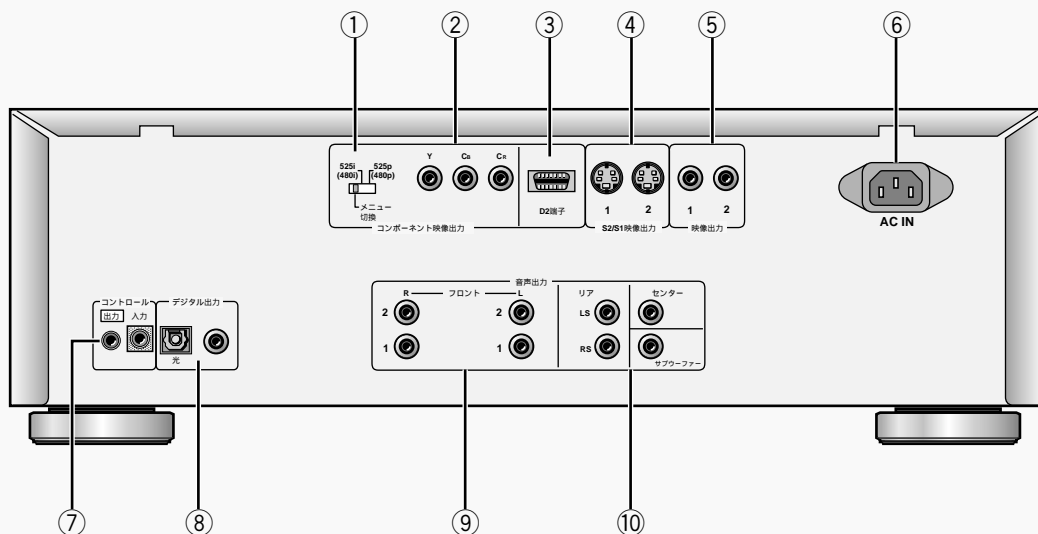
⑬ **REMAIN**
タイトル、チャプターまたはトラックの残り再生時間が表示されているとき点灯します(**P.50, 51**)。

⑭ **カウンター表示**
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター/トラック番号、経過時間などを表示します。

⑮ **プログラムフォーマットインジケーター**
再生しているDVDに収録されている音声チャンネルに対応するインジケーターが点灯します。
L　：左フロントチャンネル
C　：センターチャンネル
R　：右フロントチャンネル
LS　：左サラウンドチャンネル
S　：サラウンドチャンネル(モノラル)
RS　：右サラウンドチャンネル
LFE：LFEチャンネル

⑯ **DOWN MIX**
DVDオーディオやドルビーデジタル、DTS、またはMPEGなどのマルチチャンネル音声をダウンミックス(チャンネル変換)しているとき点灯します。 例えば、5.1チャンネル音声を2チャンネル音声に変換しているとき点灯します。

各部の名称とはたらき

本体後面

① **コンポーネント映像出力切換スイッチ**
コンポーネント映像出力端子をつないだときにテレビの走査方式に合わせて切り換えます(**P.19**)。プログレッシブ入力対応テレビに接続したときは、**[525p(480p)]**を選びます。プログレッシブ入力対応でないテレビに接続したときは**[525i(480i)]**を選びます。**[メニュー切換]**を選ぶと初期設定画面で**[プログレッシブ]**、または**[インターレース]**を切り換えることができます(**P.60**)。

② **コンポーネント映像出力(Y/CB/CR)端子**
コンポーネント(Y/CB/CR)映像入力端子のあるテレビまたはプロジェクターなどと接続するときに、市販のコンポーネント映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って接続します(**P.19**)。

③ **D2端子**
D映像入力端子のあるテレビと接続するときに、市販のD端子ケーブルを使って接続します(**P.19**)。

④ **S2/S1映像出力端子**
S映像入力端子のあるテレビまたはAVアンプなどと接続するときに、市販のS映像ケーブルを使って接続します(**P.20**)。本機のS映像出力端子は初期設定画面で**[S1]**、または**[S2]**を切り換えることができます(**P.62**)。

⑤ **映像出力端子**
テレビまたはAVアンプなどと接続するときに、付属の映像ケーブルを使って接続します(**P.15, 20**)。

⑥ **電源コード接続端子**
付属の電源コードを接続して、壁のコンセントから電源を供給します(**P.15, 16**)。

⑦ **コントロール入力/出力端子**
SRマークの付いたパイオニア製AVアンプなどにつなぐと、AVアンプなどのリモコンで本機を操作できます。市販のミニプラグ付きケーブル(抵抗なし、3.5∅)を使って、本機のコントロール入力端子とAVアンプなどのコントロール出力端子を接続します。

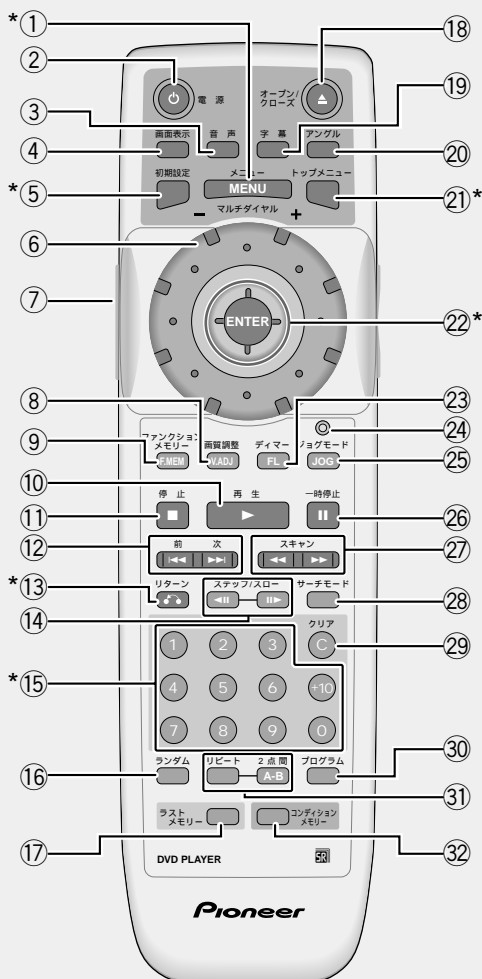
⑧ **デジタル出力(同軸/光)端子**
デジタル入力端子のあるアンプなどと接続するときに、市販の同軸または光デジタルケーブルを使って接続します(**P.16, 17**)。

⑨ **音声出力(フロント)端子**
2チャンネルのステレオアンプまたはテレビなどと接続するときに、付属の音声ケーブルを使って接続します(**P.15, 18**)。

⑩ **マルチチャンネル音声出力端子**
5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプと接続するときに、市販の音声ケーブルを使って接続します(**P.18**)。

お知らせ
- システムコントロールする場合は、市販のミニプラグ付きケーブル以外に必ずデジタル(同軸)ケーブル、アナログ音声ケーブル、映像ケーブルのいずれかを使って接続してください。
- SRマーク付きのAVアンプなどとつないだときは、つないだ機器(AVアンプなど)にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- SRマークのない機器やパイオニア以外の製品とは、システムコントロール接続はできません。

各部の名称とはたらき

リモコン

＊マーク付きのボタンはメニュー画面の操作に使います。

① **メニューボタン***
DVDソフトのメニュー画面を表示します(**P.26, 27**)。

② **電源(⏻)ボタン**
電源をオン/オフします(**P.25, 30**)。

③ **音声ボタン**
音声を切り換えます(**P.49**)。

④ **画面表示ボタン**
ディスクの情報を表示します(**P.50-52**)。

⑤ **初期設定ボタン***
初期設定画面を表示します(**P.21,53**)。

⑥ **マルチダイヤル**
スロー再生、スキャン、コマ送り再生などの特殊再生に使用します(**P.35, 36**)。

⑦ **ライティングボタン**
7つのボタン(⑧、⑨、⑩、⑪、㉓、㉕、㉖)を約6秒間点灯させます。暗い部屋などでお使いのとき便利です。

⑧ **画質調整ボタン**
ご使用になるモニターの種類に合わせて、画質の設定を**「テレビ(CRT)」**、**「プロジェクター」**、**「プロフェッショナル」**の3種類から選ぶことができます。また、お好みの画質に調整して、その設定を記憶することができます(**P.32**)。

⑨ **ファンクションメモリーボタン**
初期設定画面の設定項目の中で、よく変更する項目を記憶することができます(**P.69**)。

⑩ **再生(►)ボタン**
ディスクの再生を開始します(**P.25, 29**)。

⑪ **停止(■)ボタン**
ディスクの再生を止めます(**P.29, 30**)。

⑫ **前(⏮)/次(⏭)ボタン**
場面や曲の頭出しをします(**P.26-28**)。

各部の名称とはたらき

⑬ **リターン(↶)ボタン***
初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと1つ前の項目に戻ります。

⑭ **ステップ/スロー(◀II/II▶)ボタン**
◀II：一度押すとコマ戻し再生します。
押し続けると逆方向にスロー再生します(**P.37**)。
II▶：一度押すとコマ送り再生します。
押し続けると前方向にスロー再生します(**P.37**)。

⑮ **数字ボタン***
見たい/聞きたい場所を探すとき、音声や字幕を選ぶとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います。

⑯ **ランダムボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCDまたはCDではトラックを順不同に再生します(**P.39**)。

⑰ **ラストメモリーボタン**
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします(**P.44**)。

⑱ **オープン/クローズ(⏏)ボタン**
ディスクテーブルを開閉するときに押します(**P.25, 30**)。

⑲ **字幕ボタン**
DVDの字幕言語を切り換えます(**P.48**)。

⑳ **アングルボタン**
DVDのアングルを切り換えます(**P.48**)。

㉑ **トップメニューボタン***
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します(**P.26, 27**)。

㉒ **ジョイスティック/ENTERボタン***
設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。押すと、選択した項目を決定します。

㉓ **ディマーボタン**
本体表示窓の明るさを調整します。消灯から通常の点灯まで明るさを4段階に切り換えられます。表示窓を消灯すると、FL OFFインジケーターが点灯します。

㉔ **ジョグモードインジケーター**
マルチダイヤルの機能がコマ送りになっているとき点灯します(**P.36**)。

㉕ **ジョグモードボタン**
マルチダイヤルの機能をスロー/スキャンからコマ送りに切り換えます。マルチダイヤルを使ってコマ送り再生ができます(**P.36**)。

㉖ **一時停止(II)ボタン**
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します(**P.37**)。

㉗ **スキャン(◀◀/▶▶)ボタン**
映像や音声の早送り/早戻しをします(**P.28**)。
◀◀：早戻し方向
▶▶：早送り方向

㉘ **サーチモードボタン**
サーチの種類を選ぶときに押します(**P.31**)。

㉙ **クリアボタン**
リピート再生、ランダム再生、プログラム再生で設定した内容を取り消します(**P.38-43**)。

㉚ **プログラムボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラック、ビデオCDまたはCDではトラック番号をプログラムして好きな順に再生します(**P.40**)。

㉛ **リピート/2点間A-Bボタン**
DVDビデオではタイトルやチャプター、DVDオーディオではグループやトラックを繰り返し再生します。ビデオCD、またはCDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します(**P.38**)。

㉜ **コンディションメモリーボタン**
DVDビデオの設定を記憶します(**P.45**)。

接続と準備

⚠ **注意**
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

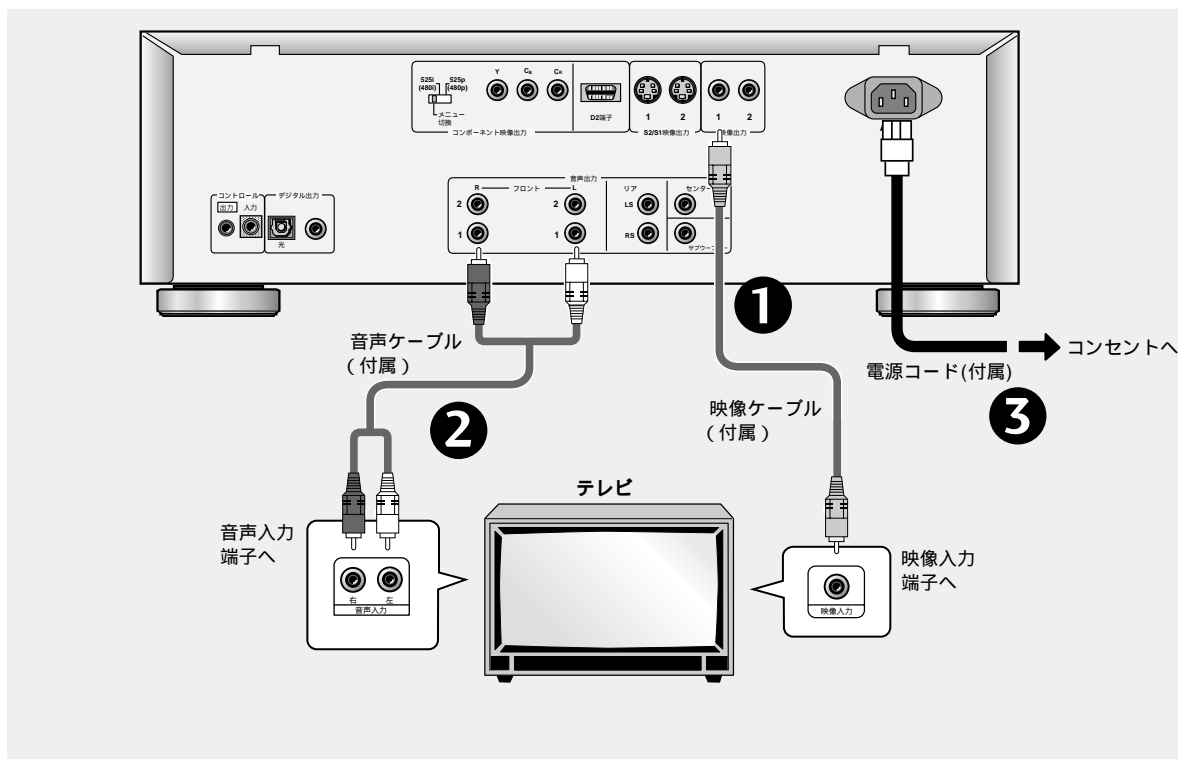
付属のケーブルを使ってテレビとつなぐ

❶ 付属の映像ケーブルをつなぐ

❷ 付属の音声ケーブルをつなぐ

左(白色)端子には白色のプラグを、右(赤色)端子には赤色のプラグをつなぎます。

❸ 付属の電源コードをコンセントへつなぐ

つなぎ終わったら、[セットアップナビゲーター]を使って本機の設定を行ってください(P.21)。

お知らせ

本機の映像出力は、直接テレビにつないでください。
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。

AV機器とつなぐ(接続例)

本機の性能を十分に楽しむための接続例です。**P.17-20** をご覧のうえ、お持ちの AV 機器やケーブルに合わせて接続してください。

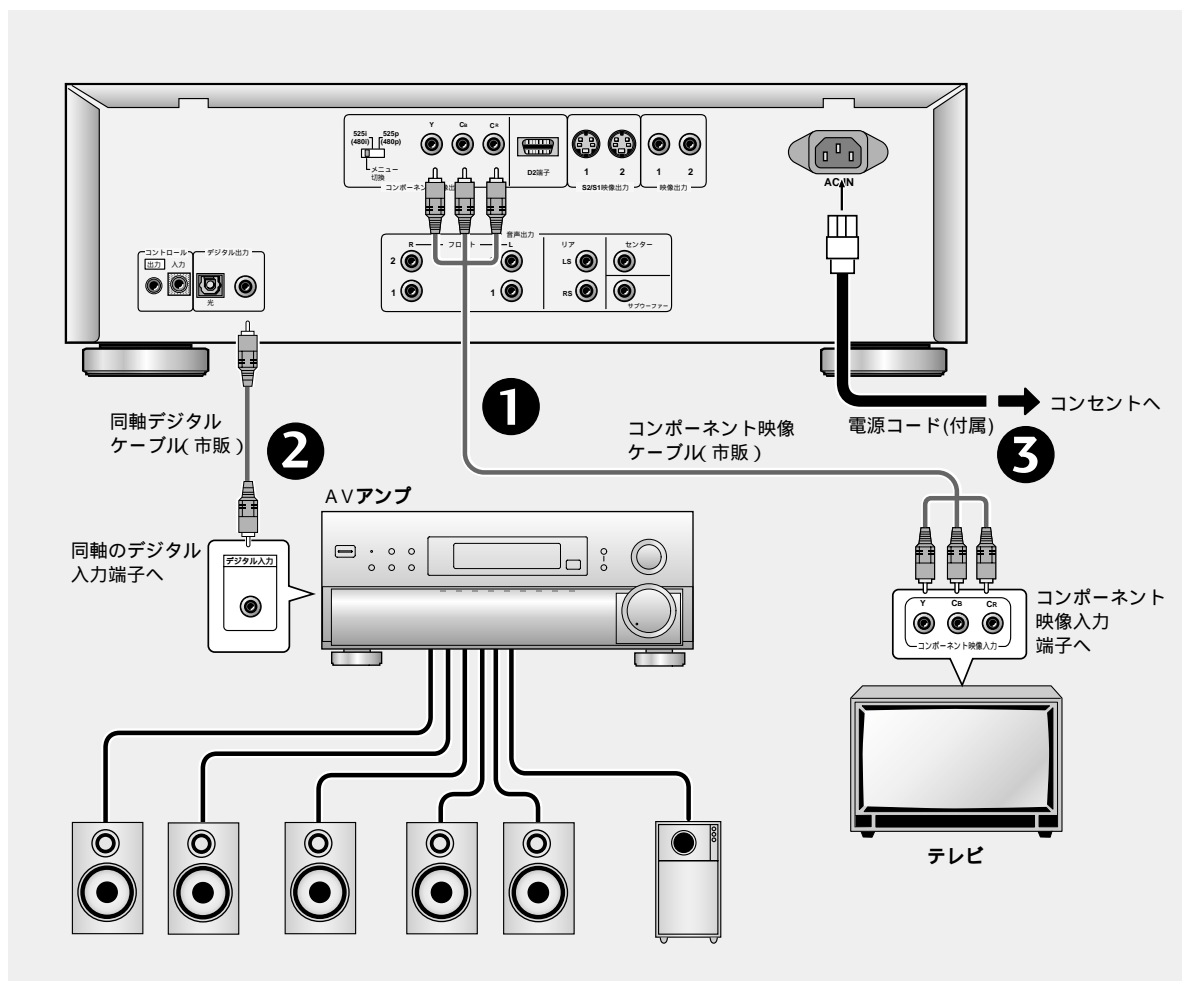
❶ 映像ケーブルをつなぐ

下の例のようにコンポーネント接続したときは、コンポーネント映像出力切換スイッチを切り換えます(P.19)。

❷ 音声ケーブルをつなぐ

次のページをご覧ください。

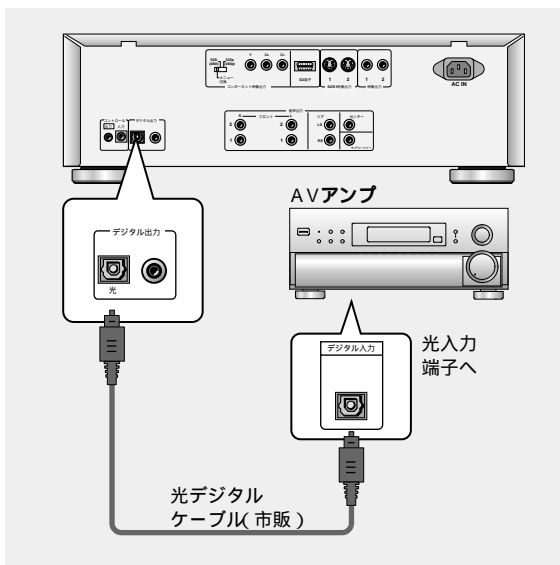
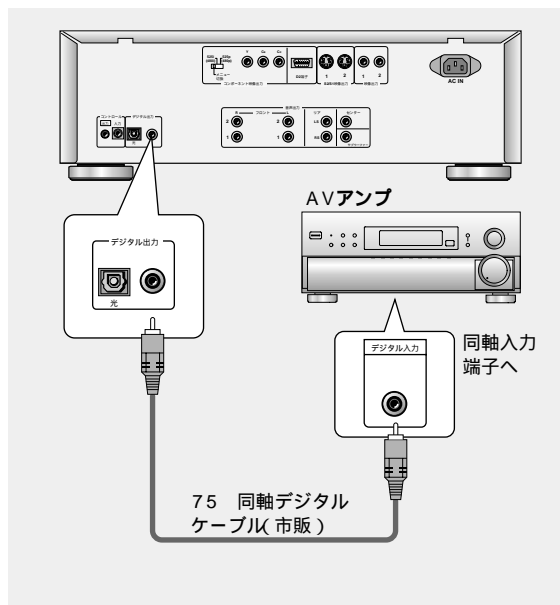
❸ 付属の電源コードをコンセントへつなぐ

つなぎ終わったら、[セットアップナビゲーター]を使って本機の設定を行ってください(P.21)。

音声ケーブルのつなぎかたを選ぶ

P.17-18 の 4 つのつなぎかたのうち、どれか 1 つ接続すれば音声が出力されます。

デジタル音声ケーブルでつなぐとき

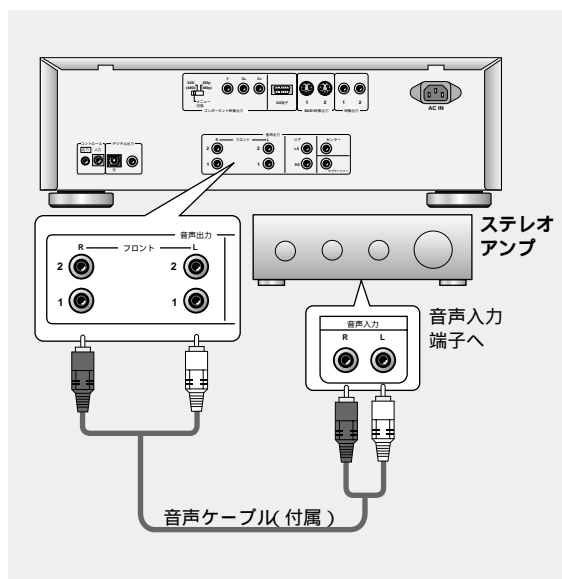
本機はドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのデジタル音声をデジタル入力に対応したAVアンプ（各デコーダー内蔵アンプまたはデコーダー）とデジタル音声ケーブルでつなぐことにより、迫力あるデジタルサウンドをお楽しみいただけます。

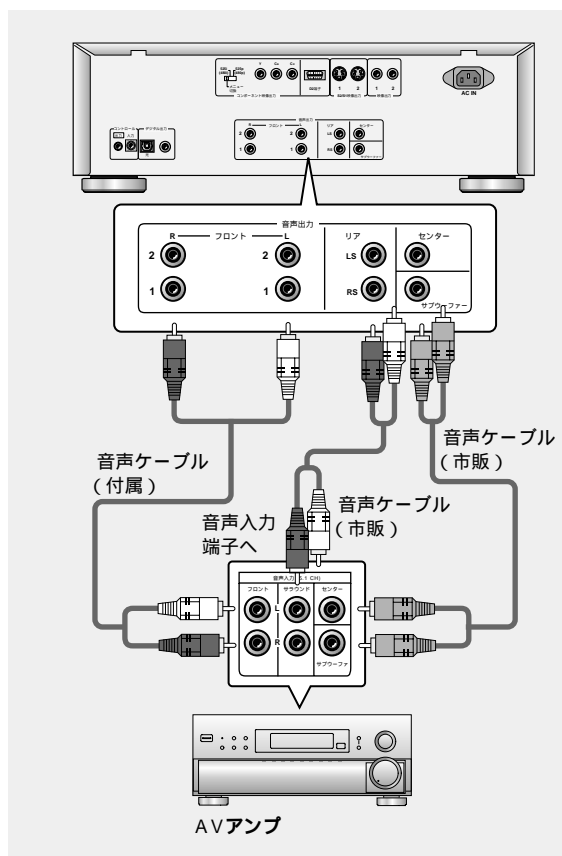
■ 市販の光デジタルケーブルでつなぐとき

■ 市販の同軸デジタルケーブルでつなぐとき

お知らせ

デジタル音声で出力するとき
- MD、CD-R(CDレコーダー)、DATなどのデジタル録音対応機器で、デジタル録音をするときは、デジタル音声ケーブルでの接続をおすすめします。
- DVD オーディオの中には、ディスクによってデジタル音声が出力されないものがあります(**P.54, 55**)。

アナログ音声ケーブルでつなぐとき

■ 2 チャンネル接続

この接続をしたときは、P.22 の[**アナログ端子**]の設定を[**2 チャンネル**]にしてください。

■ 5.1 チャンネル接続

この接続をしたときは、P.22 の[**アナログ端子**]の設定を[**5.1 チャンネル**]にしてください。

お知らせ

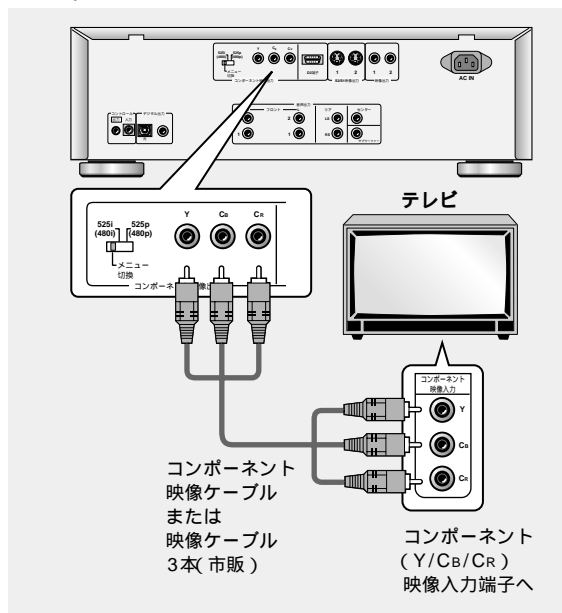
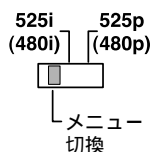
ドルビーデジタル/DTS/DVDオーディオの5.1チャンネルを楽しむには

- ドルビーデジタル/DTS/DVDオーディオの5.1チャンネル音声をお楽しみいただくためには、5.1チャンネル入力のあるAVアンプなどのほか、5チャンネルスピーカー(フロント左右 / センター / サラウンド左右)+サブウーファーが別途必要になります。

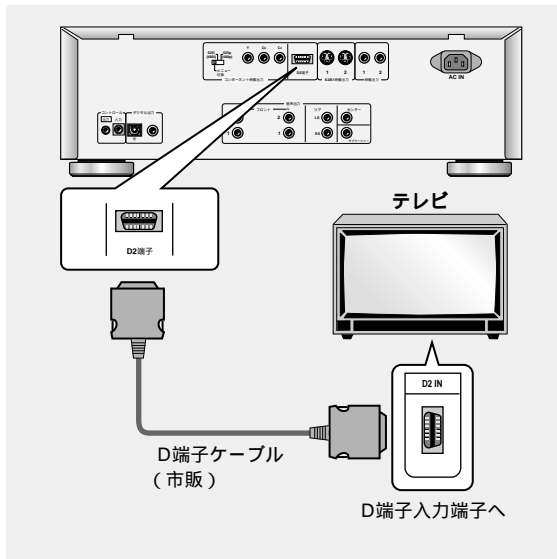
映像ケーブルのつなぎかたを選ぶ

P.19-20 の 4 つのつなぎかたのうち、どれか 1 つ接続すれば映像が出力されます。

市販のコンポーネント映像ケーブルでつなぐとき

お使いのテレビなどにコンポーネント(Y/CB/CR)映像入力端子があるときは、このつなぎかたをおすすめします。本機の高品位な映像品質を楽しむには、もっとも適したつなぎかたです。

■ コンポーネント映像出力切換スイッチ

コンポーネント映像ケーブル、または D 端子ケーブルでつないだときに切り換えます。
プログレッシブ入力対応テレビにつないだときは、**[525p (480p)]**を選びます。つないだテレビがプログレッシブ入力対応でないときは**[525i(480i)]**を選びます。**[メニュー切換]**を選ぶと、初期設定画面でどちらかを選択することができます(**P.60**)。

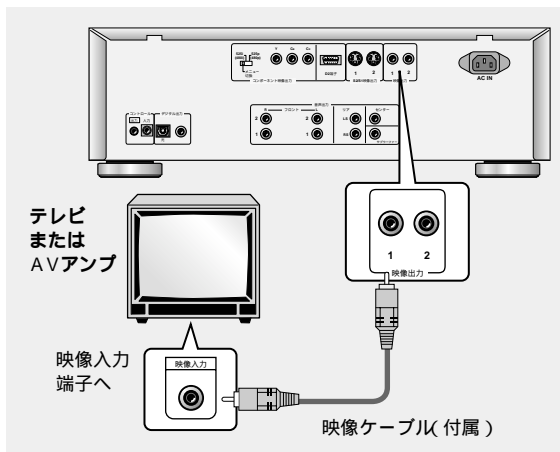
市販のD端子ケーブルでつなぐとき

お使いのテレビに D 端子入力端子があるときは、このつなぎかたをおすすめします。コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様に本機の高品位な映像品質を楽しむのに適したつなぎかたです。

■ テレビの D 端子入力について

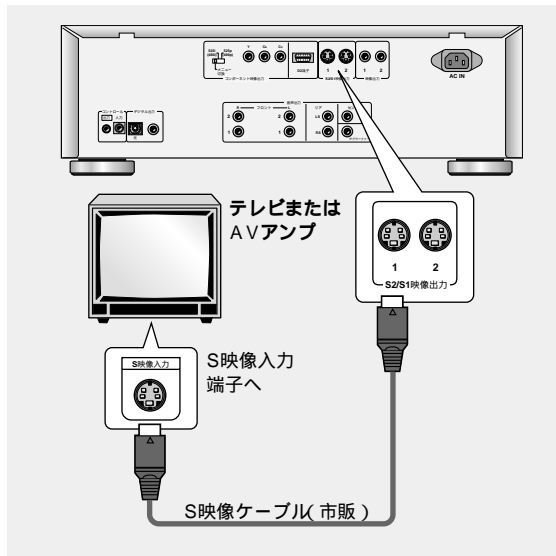
D端子	方式
D3	525i、525p、1125i
D2	525i、525p
D1	525i

i ：インターレース(飛び越し)
p ：プログレッシブ(順次)

お知らせ

- ハイビジョン対応のコンポーネント(Y/PB/PR)映像入力端子につなぐことはできません。
- **本機の映像出力は、ビデオデッキにはつながないでください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。

付属の映像ケーブルでつなぐとき

市販のS映像ケーブルでつなぐとき

お使いのテレビやAVアンプなどにS（またはS1/S2)映像入力端子があるときは、このつなぎかたをおすすめします。付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像がお楽しみいただけます。初期設定画面で**[S1]**、または**[S2]**を切り換えることができます(**P.62**)。

「セットアップナビゲーター」を使って設定する

[セットアップナビゲーター] により対話形式で本機の設定を行います。表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。この機能は、再生中にはできません。
セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。

言語（画面表示言語）➡ テレビとの接続（テレビの種類）➡ アンプとの接続

1 電源ボタンを押す

2 停止中に初期設定ボタンを押す

セットアップナビゲーター画面が表示されます。

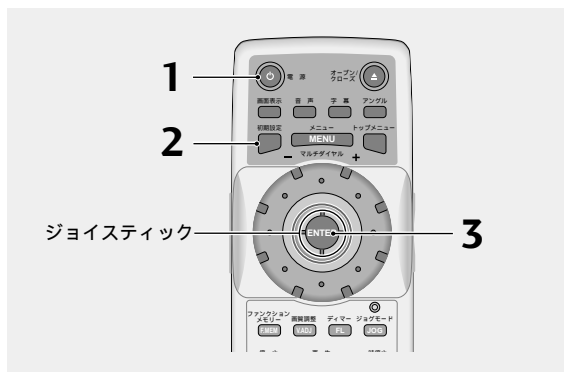
開始　：セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。

使わない：セットアップナビゲーターを使わないとき選択します。個別に設定するには ***「いろいろな設定」***(**P.53-68**)をご覧ください。

3 ENTERボタンを押す

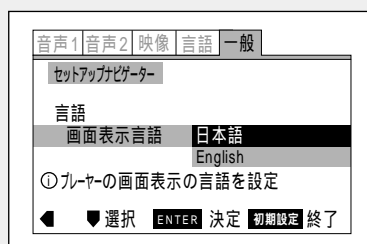
セットアップナビゲーターを開始します。**P.21-24**の項目を順に設定します。

お知らせ

- ⓘマークは情報(information)を意味しています。画面に簡単な説明が表示されますので、設定内容がわからない場合は参考にしてください。
- **[使わない]**を選ぶと次回から**初期設定ボタン**を押してもセットアップナビゲーターの画面は出なくなります。

■ 設定の途中で前の設定画面に戻るには

ジョイスティックを左に操作します。

画面に表示する言語を選ぶ

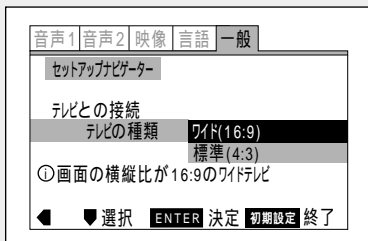
日本語、または英語から選べます。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTER ボタン**を押します。

日本語　：画面表示の言語が日本語になります。（出荷時の設定）

English：画面表示の言語が英語になります。

お知らせ

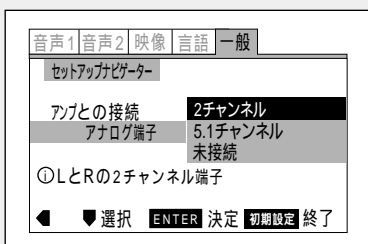
画面表示言語で選んだ言語が、字幕言語、音声言語でも選択されます(**P.64**)。

接続したテレビの種類を選ぶ

本機に接続したテレビの種類を設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTER ボタン**を押します。

ワイド(16:9) ： ワイド (16:9)のテレビと接続したとき選択します。

標準(4:3) ： 従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

接続したアナログ端子を選ぶ

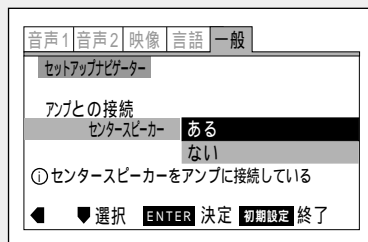
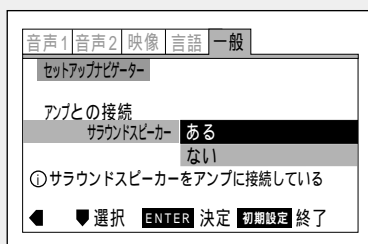
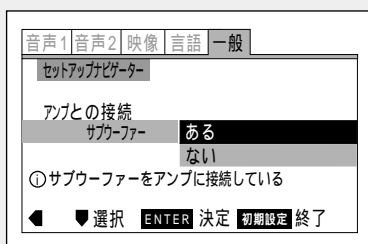
P.18で接続したアナログ音声出力端子のチャンネル数に合わせて設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTER ボタン**を押します。

2 チャンネル ： 本機の音声出力(フロント)端子に接続したとき選択します。

5.1 チャンネル ： 本機のマルチチャンネル音声出力端子に接続したとき選択します。

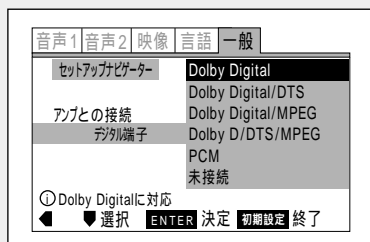
未接続 ： 本機のアナログ音声出力端子に接続していないとき選択します。

アンプに接続したスピーカーを選ぶ

「***接続したアナログ端子を選ぶ***」の設定で**[5.1 チャンネル]**を選択した場合は、スピーカーの設定が必要になります。各スピーカーと接続してある場合は**[ある]**、接続してない場合は**[ない]**を選択します。
ジョイスティックを上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

[センタースピーカー]

[サラウンドスピーカー]

[サブウーファー]

ある：スピーカーを接続しているとき選択します。
ない：スピーカーを接続してないとき選択します。

アンプが対応しているデジタル信号を選ぶ

P.17で接続したアンプがどのデジタル信号に対応しているかを設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTER ボタン**を押します。

Dolby Digital：
本機と接続した AV アンプなどがドルビーデジタル対応のとき選択します。

Dolby Digital/DTS：
本機と接続した AV アンプなどがドルビーデジタルおよび DTS 対応のとき選択します。

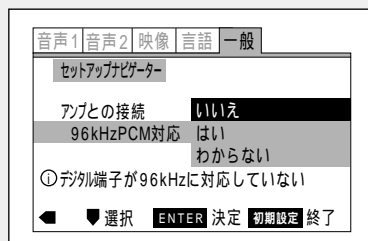
Dolby Digital/MPEG：
本機と接続した AV アンプなどがドルビーデジタルと MPEG 対応のとき選択します。

Dolby D/DTS/MPEG：
本機と接続した AV アンプなどがドルビーデジタル、DTS と MPEG 対応のとき選択します。

PCM： 本機と接続したアンプがステレオアンプまたはドルビープロロジック対応アンプのとき選択します。

未接続：アンプに接続していないとき、またはアンプがどのデジタル信号に対応しているかわからないとき選択します。この項目を選択すると次の **[96kHzPCM 対応]**の設定は必要がないため、次のページの***「セットアップナビゲーターを終了する」***へ移ります。

接続したアンプが96kHz音声に対応しているかを選ぶ

本機と接続したアンプが96kHzに対応しているか、対応していないかを設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTER ボタン**を押します。

いいえ　： 本機と接続したアンプが 96kHz に対応していないとき選択します。

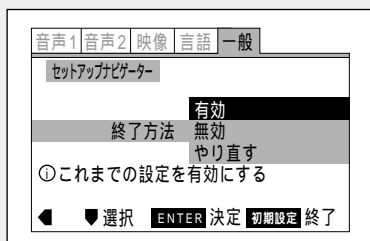
はい　： 本機と接続したアンプが 96kHz に対応しているとき選択します。

わからない： 本機と接続したアンプが 96kHz に対応しているかどうかわからないとき選択します。

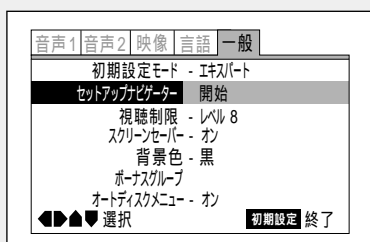
お知らせ

[いいえ]、**[わからない]**を選択したときは、DVD の音声が96kHzであっても48kHzに変換した信号を出力します。

セットアップナビゲーターを終了する

今まで設定した項目を有効にするか無効にするか、やり直すかを選択します。

有効 ：これまでの設定内容を有効にします。
無効 ：これまでの設定内容を無効にします。
やり直す ：セットアップナビゲーターを使って行った設定をはじめからやり直します。

1 ジョイスティックを上下に操作して[有効]、または[無効]を選んでENTERボタンを押す

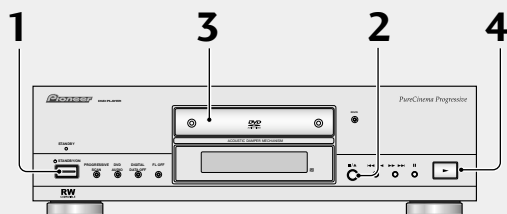
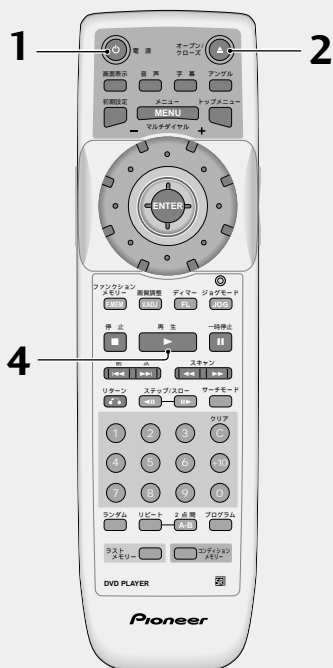
設定が終了して、下の画面になります。

2 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

お知らせ

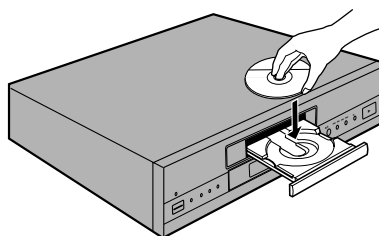
- セットアップナビゲーターでは基本的な設定を行います。より細かな設定は初期設定画面で行います（**P.53**以降）。
- セットアップナビゲーターの設定を出荷時に戻すには、電源を待機状態(スタンバイ状態)にして、本体の**停止 / オープン・クローズ(■/⏏)ボタン**を押しながら本体の⏻**スタンバイ / オンボタン**を押してください(**P.70**)。

基本的な使いかた

ディスクを再生する

1 リモコンの電源ボタン(本体の⏻スタンバイ/オンボタン)を押す

2 オープン・クローズ(⏏)ボタンを押す

ディスクテーブルが開きます。

3 ディスクテーブルのミゾに合わせて、ディスクを置く

4 再生(►)ボタンを押す

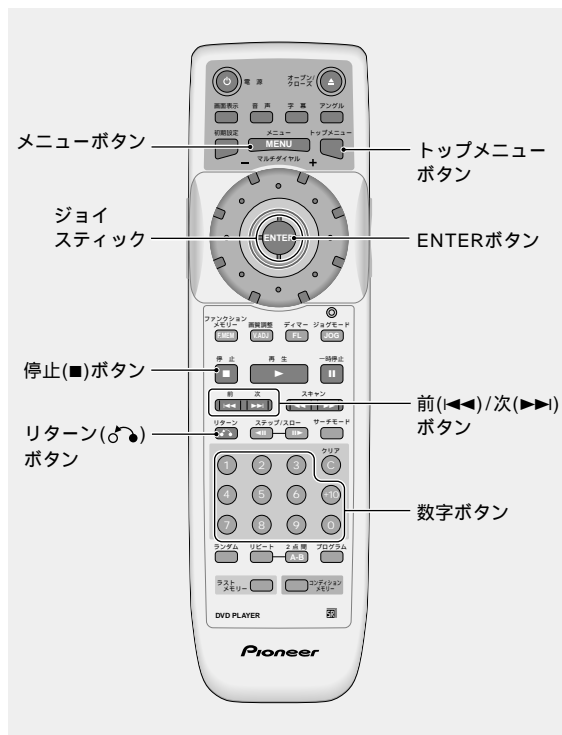
- ディスクテーブルが閉まり、再生を開始します。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。その場合は次のページをご覧ください。

基本操作

お知らせ

- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。その他にも、ディスクの取り扱いについて注意していただきたいことがあります。詳しくは**P.71** をご覧ください。
- プログラムメモリー(**P.43**)をしたディスクでは、自動的にプログラムした順に再生が始まります。

メニュー画面が表示されたとき

メニュー画面付DVDやプレイバックコントロール(PBC)*機能付ビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。

■ メニュー画面を表示させるには

ディスクによってメニュー画面の表示のしかたは異なりますが、DVDでは再生中に**メニューボタン**または**トップメニューボタン**、ビデオCDではPBC再生中に**リターンボタン(↶)**を押します。

■ メニュー画面を消すには

上記の**「メニュー画面を表示させるには」**と同じボタンを押します。

DVD のとき

ジョイスティックを上下左右に動かして選択項目を選び、ENTERボタンを押す

リモコンの**数字ボタン**を押して選択項目を選ぶこともできます。

VIDEO CD のとき

数字ボタンで選ぶ

メニュー画面が2ページ以上ある場合は、**前(|◀◀)/次(▶▶|)ボタン**を押してページをめくったり、戻したりします。

■ メニュー画面を出さずに(PBC再生をしないで)再生する

停止中に**前(|◀◀)/次(▶▶|)ボタン**または**数字ボタン**を押して、再生したいトラックを選びます。

お知らせ

- メニュー画面上の操作についてはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。
- * ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。

DVD-RWのメニュー画面を表示する

DVD-RW

DVD-RWにプレイリストを設定しているときは、オリジナル、またはプレイリストを選んで再生することができます。

1 メニューボタンを押す

2 ジョイスティックを左右に操作して、[オリジナル]、または[プレイリスト]を選ぶ

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に[**プレイリスト**]は表示されません。
- 再生中に[**オリジナル**]と[**プレイリスト**]を切り換えることはできません。

3 ジョイスティックを上下に操作して、タイトル名を選ぶ

4 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

■ 映像を確認してから再生するには（プレビュー）

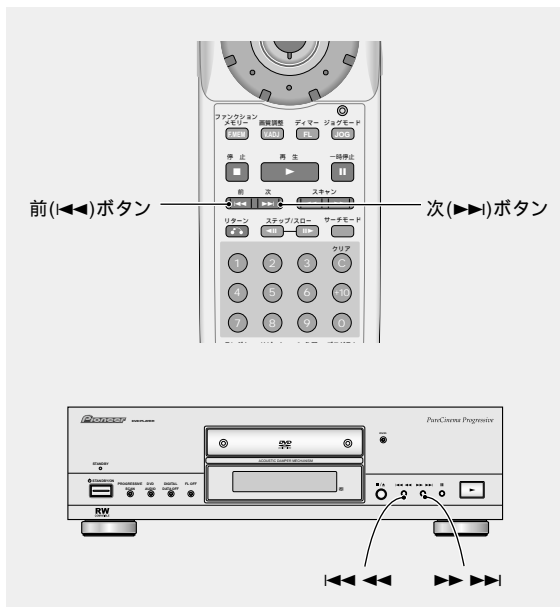
- 停止中に確認したいタイトルを選んで**ジョイスティック**を右に操作する。
- タイトルの先頭の画像を表示します（ディスクナビマークで設定した画像ではありません）。

■ メニュー画面のページをめくる、または戻すには

前(|◀◀)、または**次(▶▶|)ボタン**を押す。

お知らせ

オリジナルとは
DVD レコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。
プレイリストとは
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

見たい項目にスキップする（頭出し） DVD CD VIDEO CD DVD-RW

次のチャプター/トラックへ進む

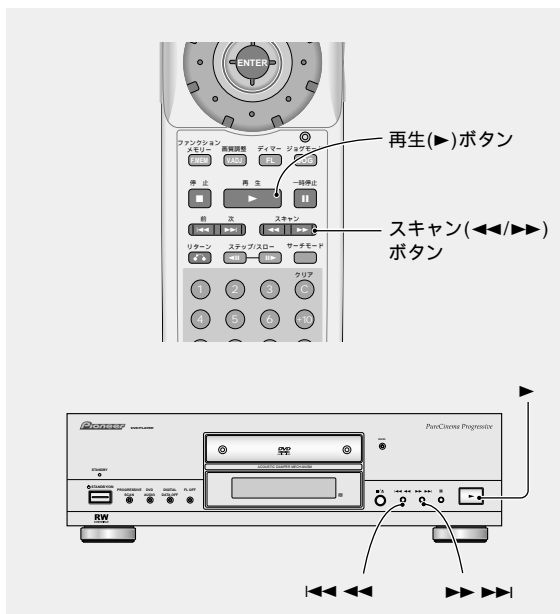
再生中にリモコンの次(▶▶|)ボタンを押す（本体では▶▶ ▶▶| ボタン）

一度押すと次のチャプター/トラックに進みます。

前のチャプター/トラックへ戻る

再生中にリモコンの前(|◀◀)ボタンを押す（本体では|◀◀ ◀◀ ボタン）

一度押すと再生中のチャプター/トラックの始めに戻ります。
連続して**前(|◀◀)ボタン**を押すと前のチャプター/トラックの始めに戻ります。

ディスクを早送り/早戻しする（スキャン） DVD CD VIDEO CD DVD-RW

早送り

1 **再生中にスキャン(▶▶)ボタンを押し続ける（本体では▶▶ ▶▶| ボタン）**

2 **見たい/聞きたい場所で、指を離す**

その場所から再生が始まります。

早戻し

1 **再生中にスキャン(◀◀)ボタンを押し続ける（本体では|◀◀ ◀◀ ボタン）**

2 **見たい/聞きたい場所で、指を離す**

その場所から再生が始まります。

お知らせ

ホールドスキャンについて

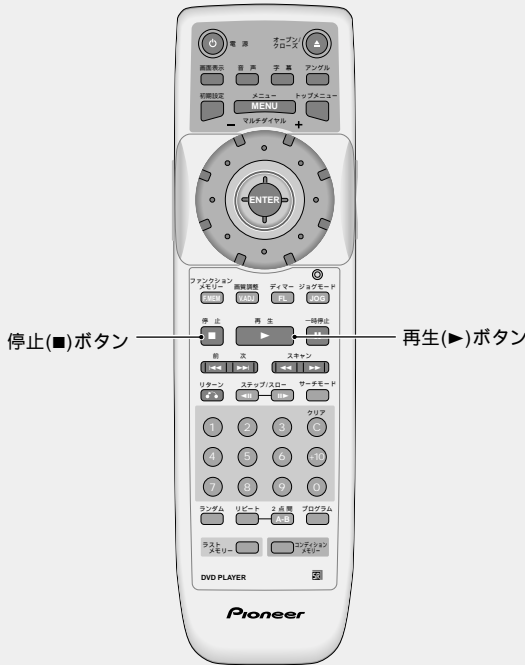
再生中に画面表示の"**スキャン**"が点滅から点灯に変わるまで(約5秒間)**スキャン(◀◀/▶▶)ボタン**を押しつづけると、**スキャン(◀◀/▶▶)ボタン**から指を離しても、スキャン(早送り/早戻し)しつづけます。見たい/聞きたい場所までできたら、**再生(▶)ボタン**を押してください。

停止した場所を記憶する（リジューム機能） DVD VIDEO VIDEO CD DVD-RW

再生中に停止(■)ボタンを一回押す

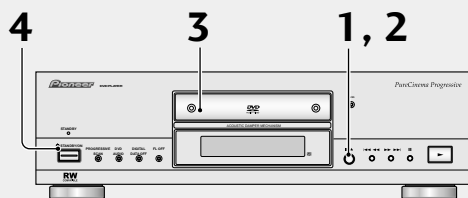
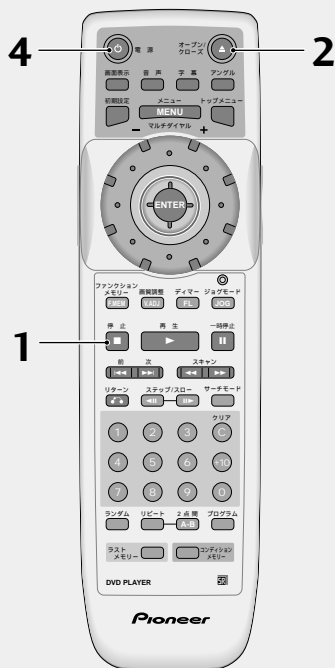
本体の表示窓に"**RESUME**"と表示され、停止した場所を記憶します。そしてもう一度、**再生(►)ボタン**を押すと、その場所から再生を始めます（これをリジューム機能といいます)。

■ リジューム機能を解除するには

ディスクを取り出すか、停止中にもう一度**停止(■)ボタン**を押します。本体表示窓にディスクの種類が表示されます。

お知らせ

- リジューム機能は電源を切っても解除されません。
- ディスクによっては、リジューム機能が働かないものもあります。
- DVD オーディオ、および CD ではリジューム機能は働きません。
- DVDでは、停止中に**前(|◄◄)ボタン**または**次(►►|)ボタン**を押すと、それまで再生していたタイトルの始めから再生します。リジューム機能が解除されているとき**再生(►)ボタン**を押すとタイトル 1 の初めから再生します。
- リジューム機能はディスクを取り出すと解除されます。ディスクの入れ換えをしても、停止した場所や再生中の設定を記憶させておきたいときはラストメモリー機能(**P.44**)をお使いください。

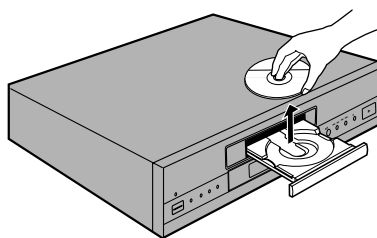
再生を止める

DVD　CD　VIDEO CD　DVD-RW

1　停止(■)ボタンを押す

停止した場所を記憶します。詳しくは**P.29**のリジューム機能の説明をご覧ください。

2　オープン/クローズ(▲)ボタンを押す

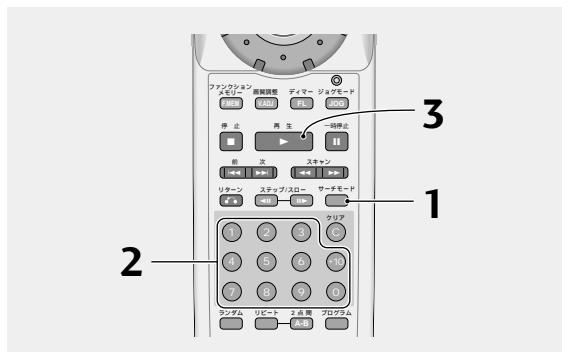
ディスクテーブルが開きます。

3　ディスクを取り出す

4　リモコンの電源ボタン(本体の⏻スタンバイ/オンボタン)を押す

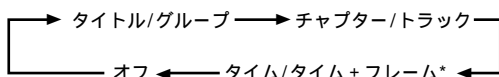
ディスクテーブルが閉まり、電源が待機状態になります。

便利な使いかた

見たい/聞きたい場所を探す(サーチモード) DVD CD VIDEO CD DVD-RW

DVD、または DVD-RW のタイトル / チャプター、DVD オーディオのグループ / トラック、ビデオ CD または CD のトラック、さらに再生を開始する時間を指定(タイムサーチ)して、見たい / 聞きたい場所を探すことができます。

1 サーチモードボタンを押して、サーチの種類を選ぶ

押すたびに以下のようにサーチの種類が変わります。ビデオCDでは、トラック、タイム、オフを切り換えます。CD では、トラックとオフを切り換えます。

→ タイトル/グループ → チャプター/トラック → タイム/タイム+フレーム* → オフ →

＊ フレームサーチ(DVDのみ)をするときは、初期設定画面で**[映像]**の**[フレームサーチ]**を**[オン]**にしてください(**P.63**)。

2 希望のタイトル/グループ、チャプター、トラック、または再生を開始したい時間を数字ボタンで選ぶ

■ **タイトル / グループ、チャプター / トラックサーチのとき**

例) 3を選ぶには、**3**を押します。
10を選ぶには、**1**と**0**を押します。
37を選ぶには、**3**と**7**を押します。

■ **タイム / タイム+フレームサーチのとき**

例) 21分43秒を選ぶには、**2、1、4、3**と押します。
1時間14分(=74分00秒)を選ぶには、**7、4、0、0**と押します。
21分43秒16フレームを選ぶには、**2、1、4、3、1、6**と押します。

3 再生(►)ボタンを押す

指定した場所から再生をします。**[フレームサーチ]**が**[オン]**のときは、指定した場所で静止画になります。

ダイレクトサーチ

サーチモードボタンを押さなくても、**数字ボタン**を押すだけで見たい / 聞きたい場所を探すことができます。

DVD のとき

停止中に希望のタイトル/グループを数字ボタンで選ぶ。再生中に希望のチャプターを数字ボタンで選ぶ

例) 3を選ぶには、**3**を押します。
10を選ぶには、**+10**と**0**を押します。
37を選ぶには、**+10、+10、+10**と**7**を押します。

CD VIDEO CD のとき

希望のトラックを数字ボタンで選ぶ

DVD-RW のとき

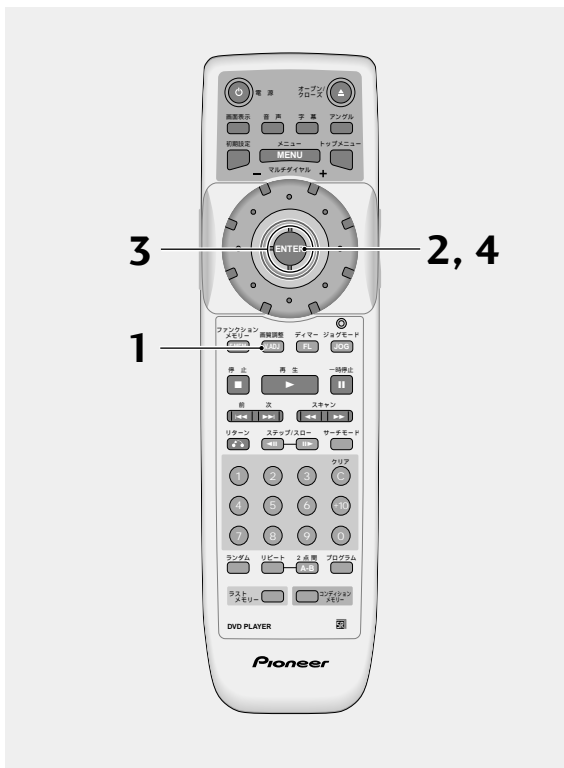
希望のタイトルを数字ボタンで選ぶ

お知らせ

- DVDオーディオの中には静止画が入っているものがあります(**P.75**)。静止画の種類によっては**サーチモードボタン**を押すと、静止画の番号「ページ」を指定して探すことができます。
- ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。この場合、**メニューボタン**を押してメニューを表示させて選択してください(**P.26**)。
- ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は🚫マークが画面に表示されます。
- DVD オーディオまたは CD ではタイムサーチはできません。
- DVDビデオまたはビデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
- DVD ビデオでは、停止中にタイムサーチはできません。
- ビデオCDのPBC再生時には、タイムサーチはできません。タイムサーチを行うにはPBC再生を止めてください(**P.26**)。
- 映像は 1 秒間が 30 フレームで構成されています。フレームは 0 ～ 29 の番号で表示されます。
- 一時停止中、またはコマ送り中にフレーム番号を表示させることができます。初期設定画面で**[映像]**の**[フレームサーチ]**を**[オン]**にして、**画面表示ボタン**を押します(**P.50**)。
- ディスクによっては指定したフレームにサーチできないことがあります。

画質を調整する

DVD VIDEO CD DVD-RW

テレビやプロジェクターなど、ご使用のモニターの種類に合わせてそれらに最適な画質設定を選べます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくことも可能です。
再生中にテレビの画面を見ながら画質を調整することができます。

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1　画質調整(V.ADJ)ボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

2　ENTERボタンを押す

テレビ(CRT)　プロジェクター　プロフェッショナル
メモリー1　メモリー2　メモリー3

3　ジョイスティックで好みの画質を選ぶ

- **テレビ(CRT):**
  TV (CRT) モニターに適した画質です。
- **プロジェクター:**
  プロジェクターに適した画質です。
- **プロフェッショナル:**
  プロ用モニターに適した設定で、本機による映像信号調整処理を抑えた画質です。
- **[メモリー1]、[メモリー2]、[メモリー3]:**
  好みで調整した画質設定を記憶させることができます。次のページの「***好みの画質に調整する***」をご覧ください。

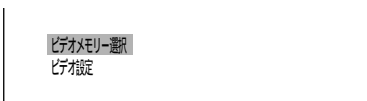
4　ENTERボタンを押す

画質調整画面が消えます。

好みの画質に調整する

1 画質調整ボタン(V.ADJ)を押す

画質調整画面が表示されます。

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

2 ジョイスティックを上下に操作して、[ビデオ設定]を選ぶ

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

3 ENTERボタンを押す

プログレモーション fast slow
▲▼ 選択 ENTER 決定 画面表示 確認

4 ジョイスティックを上下に操作して、調整する項目を選ぶ

調整できる項目数は15です。**画面表示ボタン**を押すと、調整項目一覧(下図)を画面に表示します。

5 ジョイスティックを左右に操作して、レベルを調整する

6 手順4と5を繰り返して、すべての項目を調整する

設定した内容を記憶させたいときは**[メモリー]**を選び、**[1]**、**[2]**、**[3]**のいずれかに記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

メモリー Off 1 2 3
▲▼ 選択 ENTER 決定 画面表示 確認

7 ENTERボタンを押す

画質調整画面が消えます。なお、**ENTERボタン**を押さないと、調整した内容を**[メモリー]**に記憶することができません。

お知らせ

[テレビ画面]の設定を**[レターボックス(4:3)]**または**[パンスキャン(4:3)]**にしてDVDを再生しているときに調整項目一覧を表示させると、画面が**[ワイド(16:9)]**に切り換わることがあります。これは故障ではありません。画面を閉じると元の設定に戻ります。

応用操作

便利な使いかた

■ 調整項目一覧

プログレモーション ：プログレッシブスキャン映像に効果を与える設定で、動画向き、静止画向きの映像に調整します。プログレッシブが出力されているときのみ調整することができます。
ピュアシネマ ：プログレッシブスキャン回路とDNRの動作をフィルム素材のDVDの再生に最適な設定にします。通常は**[Auto]**に設定しますが、映像が不自然なときは**[On]**または**[Off]**にします(下記の**「*ピュアシネマモードについて*」**をご覧ください)。
YNR ：輝度(Y)信号のノイズを軽減します。
CNR ：色(C)信号のノイズを軽減します。
MNR ：映像のモスキートノイズ(MPEG 圧縮時に映像の輪郭部分に発生するノイズ)を軽減します。
BNR ：映像のブロックノイズを軽減します。
シャープネス High ：高域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。
シャープネス Mid ：中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。
ディテール ：画像の輪郭を強調します。
白レベル ：白色のレベルを調整します。
黒レベル ：黒色のレベルを調整します。
黒セットアップ ：黒色の浮きを補正し、立体感のある引き締まった映像を再現します。
色あい ：緑色と赤色のバランスを調整します(コンポーネント映像では効果はありません)。
色の濃さ ：色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
クロマディレイ ：映像の輝度(Y)信号と色(C)信号のずれを調整します。

■ ピュアシネマモードについて

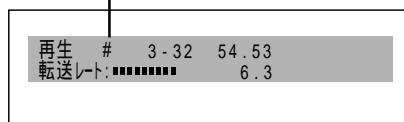
DVD の映像信号には次の 2 種類があります。

- 「ビデオ素材」といわれる映像情報を毎秒30コマで記録した信号
- 「フィルム素材」といわれる映像情報を毎秒24コマで記録した信号

フィルム素材である映画フィルムは毎秒24コマ(24Hz)で記録されており、この「ピュアシネマ」モードは、そのような毎秒 24 コマで記録された映像情報を毎秒 60 コマのプログレッシブ画面に変換する際に、ディスクに記録された処理情報をもとにオリジナルの映画フィルムに忠実な走査線の構成をします。それにより原画に近い鮮明な映像を楽しむことができます。

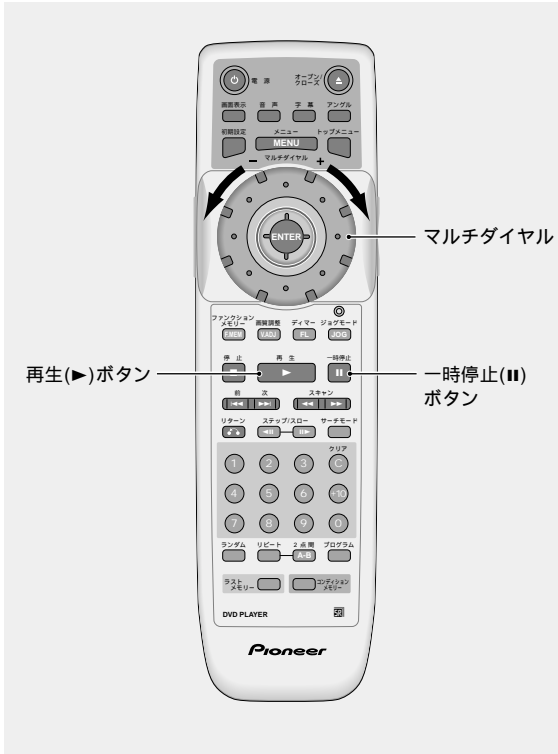
この設定は通常、**[Auto]**でお楽しみください。ディスクによっては輪郭がギザギザになったり、ブレて見えたりすることがあります。そのような場合は設定を**[Off]**または**[On]**に変更してご覧ください。

フィルム素材の（毎秒 24 コマで記録された）DVD が再生されているときは、それをディスクの情報画面で確認することができます。

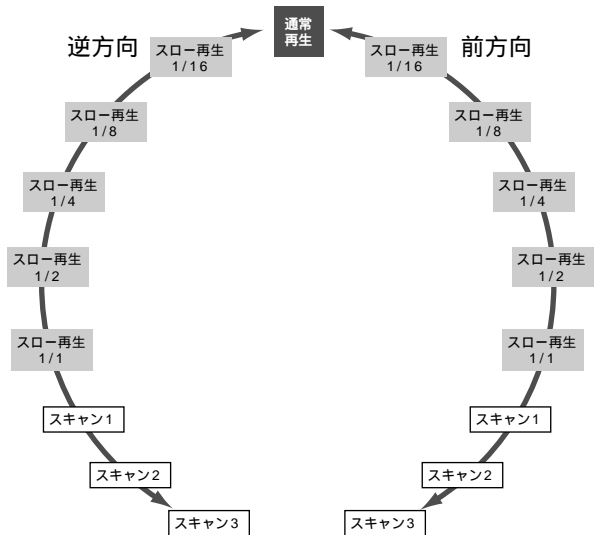
24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に、「#」が表示されます。

ディスクの情報画面を表示するには、**画面表示ボタン**を押します。繰り返し押すと上記の画面(転送レート表示画面)になります(詳しくは **P.50** をご覧ください)。

マルチダイヤルを使った特殊再生

DVD CD VIDEO CD DVD-RW

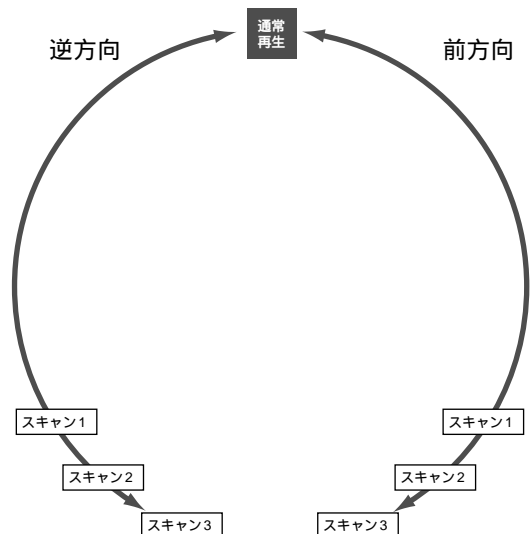
マルチダイヤルを使って、再生する速度を様々に変えて楽しむことができます。速度を変える再生には「スロー再生」、「コマ送り再生」と「スキャン」があります。特殊再生中は音声が出力されません。

スロー再生/スキャン

■ マルチダイヤルをゆっくり回したとき

マルチダイヤルを左右にゆっくり回すと、下記のように再生速度を変えることができます。

■ 特殊再生の方向をすばやく変えたいとき

例えば、前方向のスロー再生中にすぐに逆方向のスロー再生をしたいときなどは、**一時停止(II)ボタン**を押してからマルチダイヤルを反対の方向に回すと、再生方向が変わります。

■ マルチダイヤルをすばやく回したとき

マルチダイヤルを左右にすばやく回すと、下記のようにスキャンの速度を変えることができます。

お知らせ

- CDではスキャンのみできます。CDのスキャン中は音声が出力されます。
- ビデオCDまたはCDのスキャンではスキャン2まで、速度を変えることができます。
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。
- DVD ではタイトルによってスロー再生ができないものもあります。その場合は マークまたは マークが画面に表示されます。
- ディスクによっては逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
- 逆方向のスロー再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。
- 逆方向のスロー再生または逆方向のスキャン中、字幕は表示されません。
- ディスクによってはチャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。

■ 通常の再生に戻すには

- スロー再生またはスキャン中、マルチダイヤルを現在再生している方向の逆へすばやく回すと通常の再生に戻ります。
- スロー再生、またはスキャン中に**再生(►)ボタン**を押しても通常の再生に戻ります。

コマ送り再生

ジョグモードボタンを押してジョグモードインジケーターを点灯させると、マルチダイヤルを使ってコマ送り再生を楽しむことができます。

1 ジョグモードボタンを押す

ジョグモードインジケーターが点灯します。

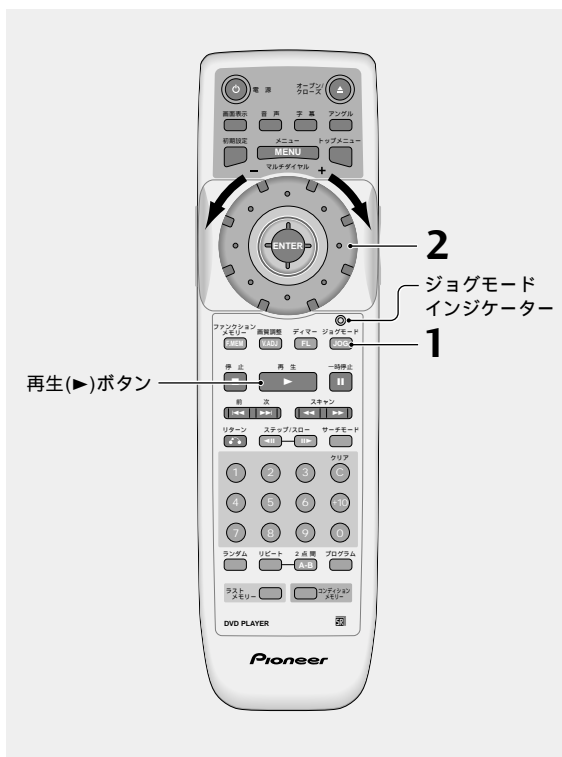
2 マルチダイヤルを回す

- 右に回すとコマ送り、左に回すとコマ戻しをします。
- 回す速度に合わせて再生の速度も変わります。
- 回すのを止めると一時停止になります。

■ 通常の再生に戻すには

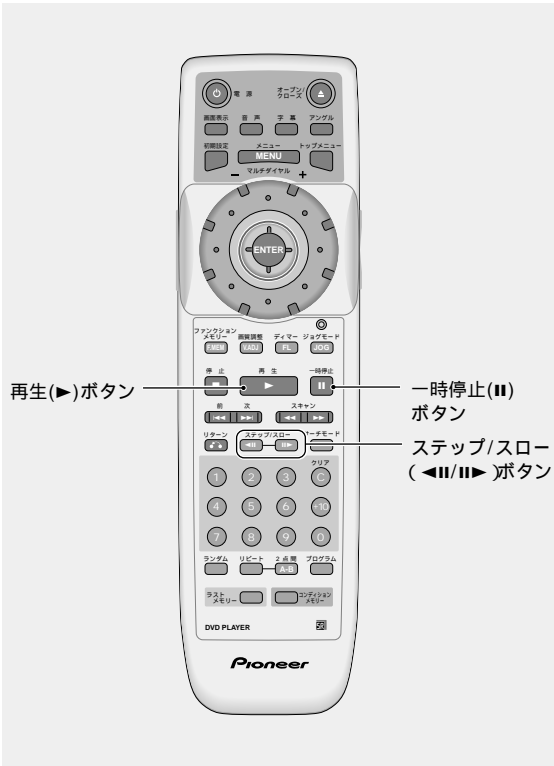
再生(►)ボタンを押します。

■ コマ送り再生を解除するには

ジョグモードボタンを押します。
ジョグモードインジケーターが消えます。

お知らせ

- DVD ではタイトルによってコマ送り再生、コマ戻し再生ができないものもあります。このようなときテレビ画面上に🚫が表示されます。
- ビデオ CD ではコマ戻し再生ができません。
- コマ戻し再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。

静止画/速さを変えて再生する

DVD CD VIDEO CD DVD-RW

画像を止めて見る(静止画再生)

再生中に一時停止(❚❚)ボタンを押す

■ 静止画再生を止めるには

再生(►)ボタンまたは**一時停止(❚❚)ボタン**を押します。

画像をスローで見る(スロー再生)

静止画再生中(一時停止中)にスロー再生が始まるまでステップ/スロー(◄❚❚/❚❚►)ボタンを押しつづける

◄❚❚:逆方向
❚❚►:前方向

■ スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中に**ステップ/スロー(◄❚❚/❚❚►)ボタン**を押すと、スロー再生の速さを変えることができます。

逆方向 ◄❚❚
1/2 ー 1/4 ー 1/8 ー 1/16
❚❚►

■ スロー再生を止めるには

再生(►)ボタンを押します。

画像をコマ送りで見る(コマ送り再生)

静止画再生中(一時停止中)にステップ/スロー(◄❚❚/❚❚►)を押す

1度押すと1コマ送ります。
◄❚❚:逆方向
❚❚►:前方向

■ コマ送り再生を止めるには

再生(►)ボタンを押します。

お知らせ

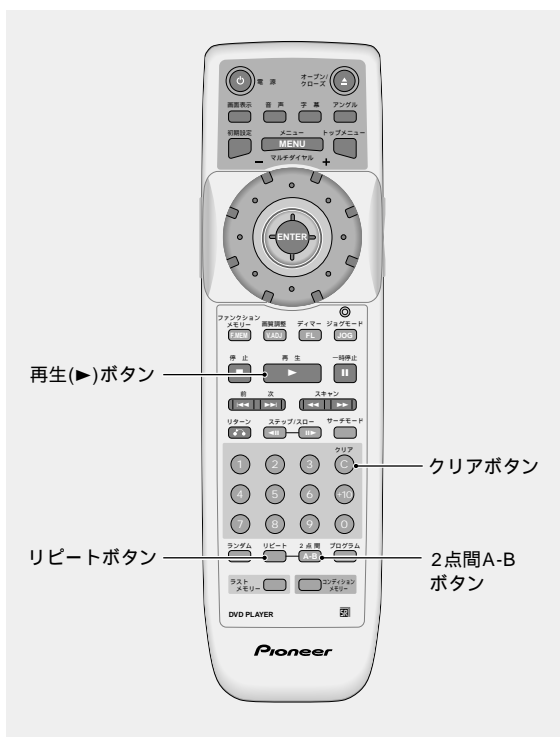
- DVDオーディオの中には、静止画が入っているものがあります(**P.75**)。静止画の種類によっては、**ステップ/スロー(◄❚❚/❚❚►)ボタン**で静止画を進めたり、戻したりすることができます。
- マルチダイヤルを使ってもスロー再生やコマ送り再生を楽しむことができます(**P.35, 36**)。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の[**ポーズモード**]を[**フィールド**]に切り換えてください(**P.62**)。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合はマークまたはマークが画面に表示されます。
- ビデオCDでは逆方向のスロー再生、コマ送り再生はできません。
- スロー再生、コマ送り再生については「***マルチダイヤルを使った特殊再生***」の**お知らせ**もあわせてご覧ください(**P.35**)。

お知らせ

コマ送り再生中、[**フレームサーチ**]を[**オン**]にしていると、テレビ画面に表示されるフレーム番号が抜けることがありますが動作上コマ落ちしているわけではありません(**P.73**)。

応用操作

繰り返し再生する（リピート再生）

DVD CD VIDEO CD DVD-RW

チャプターまたはトラックを繰り返し再生する

繰り返したいチャプターまたはトラックを再生中に、リピートボタンを1回押す

再生中のチャプターまたはトラックを繰り返し再生します。

1つのタイトル/グループを繰り返し再生する

繰り返したいタイトル/グループを再生中に、リピートボタンを2回押す

再生中のタイトル、またはグループを繰り返し再生します。CDまたはビデオCDではディスク1枚が1つのタイトルなので、そのディスク全体を繰り返します。

指定した範囲を繰り返し再生する(A-Bリピート再生)

1 再生中に、繰り返したい範囲の始めで2点間A-Bボタンを押す

2 繰り返したい範囲の終わりで2点間A-Bボタンを押す

指定した範囲を繰り返し再生します。

指定した箇所に戻る(メモリーリピート再生)

1 再生中に、戻る先として指定したい箇所で2点間A-Bボタンを押す

2 戻りたいときに再生(►)ボタンを押す

指定した箇所に戻って再生します。

リピート再生を止める

クリアボタンを押す

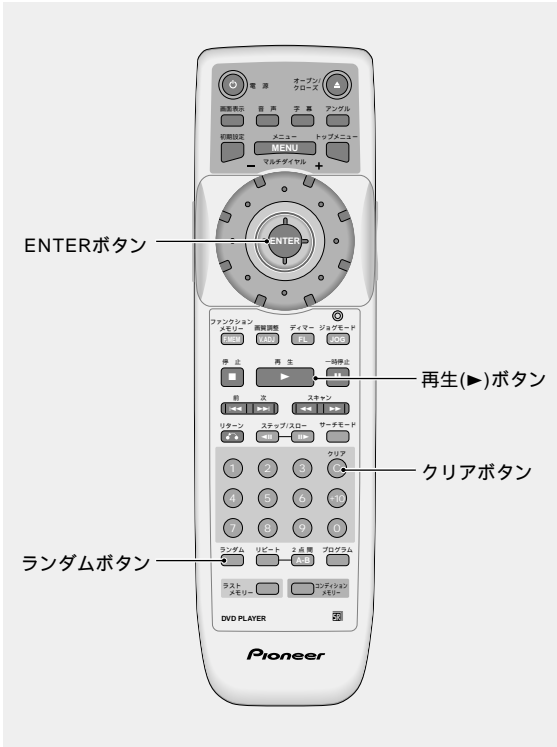
リピート再生は解除され、通常の再生に戻ります。また、**リピートボタン**を押して**オフ**を選んでリピート再生を解除することもできます。

お知らせ

- DVDではタイトル / グループによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、マークが表示されます。
- ビデオCDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生するには、ディスクを停止中、繰り返したいトラック番号を**数字ボタン**で入力し、それから**リピートボタン**を押します(**P.26**)。
- プログラム再生中(**P.40**)に**リピートボタン**を押すと、プログラムを繰り返し再生します。
- リピート再生中にアングルを切り換える(**P.48**)とリピート再生は解除されます。
- DVD-RWでは静止画再生中にA-Bリピート再生、またはメモリーリピート再生すると指定した箇所よりも前の場面に戻ることがあります。

順不同に再生する（ランダム再生）

DVD CD VIDEO CD

DVDのタイトルやチャプター、DVDオーディオのグループやトラック、ビデオCDまたはCDのトラックを順不同に再生することができます。

DVD のとき

チャプター/トラックをランダム再生する

再生中にランダムボタンを1回押し、ENTERボタンを押す

再生しているタイトル内のチャプター、または再生しているグループ内のトラックを順不同に再生します。

タイトル/グループをランダム再生する

再生中にランダムボタンを2回押し、ENTERボタンを押す

タイトル/グループを順不同に再生します。

CD VIDEO CD のとき

トラックをランダム再生する

再生中にランダムボタンを押す

順不同に再生します。

ランダム再生を止める

クリアボタンを押す

現在再生されているチャプター/トラックから通常の再生に戻ります。

お知らせ

- DVD-RWはランダム再生できません。また、DVDにもランダム再生できないものがあります。
- ランダム再生中に**次(►►I)ボタン**、または**ランダムボタン**を押すと、順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ランダム再生中に**前(I◄◄)ボタン**を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。
- ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクを停止中、トラック番号を**数字ボタンで**入力し、それから**ランダムボタン**を押します。
- チャプターまたはトラックをプログラム再生中(**P.40**)にランダム再生はできません。
- ランダム再生を繰り返すことはできません。

順番を変えて再生する（プログラム再生）

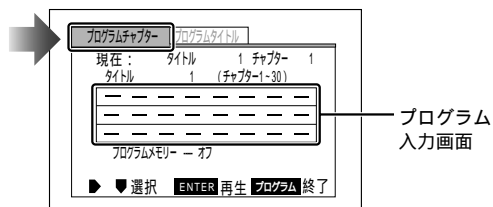
DVD CD VIDEO CD

DVDのタイトルやチャプター、DVDオーディオのグループやトラック、ビデオCDまたはCDのトラックを希望の順番に並べ替えて再生します。最大24ステップまでプログラムできます。

DVD のとき

1　プログラムボタンを押す

プログラム画面が表示されます。

2　ジョイスティックを左右に操作して、[プログラムチャプター]または[プログラムタイトル]（[プログラムトラック]または[プログラムグループ]）を選ぶ

3　ジョイスティックを下に操作して、プログラム入力画面に移動させる

■ **[プログラムチャプター][プログラムトラック]でタイトル / グループを変えるには**

プログラムしたいタイトル番号を変えたい場合は、プログラム入力画面の最上段で**ジョイスティック**を上に操作して、**数字ボタン**を押してタイトルを指定します。

4　プログラム再生したい順にタイトル/グループまたはチャプター/トラックを、数字ボタンで指定する

例） 9、7、18の順にプログラムするには、**9、7、+10、8**と押します。

5　ENTERボタンを押す

指定した順に再生を開始します。

■ **プログラム再生をしないでプログラムを終了するには**

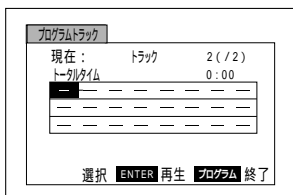
プログラムボタンを押してください。

お知らせ

- DVD-RWはプログラム再生できません。また、DVDにもプログラム再生できないものがあります。
- チャプター(トラック)のプログラムは、同じタイトル(グループ)内のチャプター(トラック)でのみプログラムできます。
- チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。

CD VIDEO CD のとき

1 プログラムボタンを押す

プログラム画面が表示されます。

2 プログラム再生したい順にトラックを、数字ボタンで指定する

例） トラックを9、7、18の順にプログラムするには、**9、7、+10、8**と押します。

3 ENTERボタンを押す

指定した順に再生を開始します。

■ プログラム再生をしないでプログラムを終了するには

プログラムボタンを押します。

DVD CD VIDEO CD のとき

プログラム再生を止める

再生中にクリアボタンを押す

通常の再生に戻ります。

一時停止をプログラムする

プログラム入力画面で一時停止(II)ボタンを押す

"II"が表示され、一時停止がプログラムされます。

一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトル/グループ、チャプター/トラックの初めで一時停止します。

■ プログラム再生をつづけるには

再生(►)ボタンを押します。

お知らせ

・ビデオCDのPBC再生時にはプログラム再生はできません。プログラム再生を行うにはPBC再生を止めてください(**P.26**)。
・ディスクテーブルを開くと、プログラムはすべて消えてしまいます。DVDでは、残しておきたいプログラムを本機に記憶させることができます(**P.43**)。
・停止中に**クリアボタン**を押すと、すべてのプログラムが消去されてしまいます。
・プログラムの最初と最後には、一時停止はプログラムできません。
・連続して２回以上一時停止をプログラムすることはできません。

映像や音を確認しながらプログラムする

ディスクを再生して、映像や音を確認しながら、チャプター / トラックをプログラムすることができます。

1 プログラムしたいチャプターまたはトラックを再生中に、プログラムボタンを1秒以上押す

以下のような画面が表示されます。

DVD のとき

チャプター　03▶ プログラム　01

CD VIDEO CD のとき

トラック　01▶ プログラム　02

2 さらにプログラムに追加したいときは手順1を繰り返す

順次プログラムに追加されていきます。

3 プログラムボタンを押す

プログラム画面の内容を確認します。再生を始めるには**ENTERボタン**を押します。

■ プログラム再生をしないでプログラムを終了するには

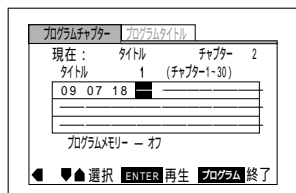
プログラムボタンを押します。

お知らせ

- すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
- 「プログラムタイトル」が入力された状態でこの機能を使った場合は、チャプターではなく、タイトルがプログラムされます。
- すべてのプログラム(24ステップ)が入力されているときは が表示され、新しくプログラムを入力することはできません。
- チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときは が表示され、プログラムを入力することができません。

プログラムを確認する

プログラムボタンを押す

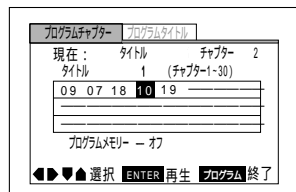
DVDではさらに**ジョイスティック**を左右に操作して**[プログラムチャプター]**/**[プログラムトラック]**、または**[プログラムタイトル]**/**[プログラムグループ]**を選びます。

■ プログラム再生を開始するには

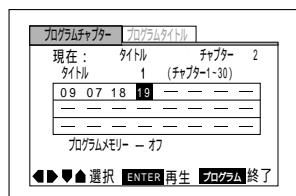
ENTERボタン、または**再生(▶)ボタン**を押します。

■ プログラムを終了するには

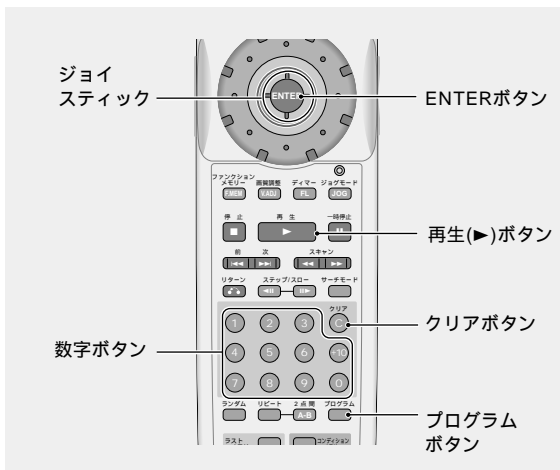
プログラムボタンを押してください。

プログラムの内容を1つずつ消去する

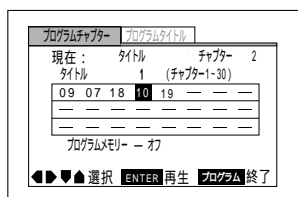
1 ジョイスティックを上下左右に操作して、消去したい番号を指定する

2 クリアボタンを押す

指定された番号は消去され、後の番号が1つずつ前に移動します。

■ プログラム再生を開始するには

ENTERボタン、または**再生(▶)ボタン**を押します。

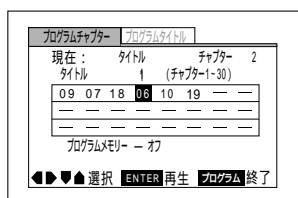
■ プログラムを終了するには

プログラムボタンを押してください。

プログラムを追加する

1 ジョイスティックを上下左右に操作して、挿入したい箇所を指定する

2 数字ボタンを押す

指定された番号は後へ移動し、新しい番号が挿入されます。

■ プログラム再生を開始するには

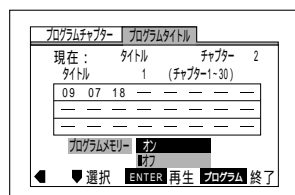
ENTERボタン、または**再生(►)ボタン**を押します。

■ プログラムを終了するには

プログラムボタンを押してください。

すべてのプログラム（24 ステップ）が入力されているときは、クリアボタンで消去してから追加してください。

プログラムを記憶する（プログラムメモリー）

本機はディスクを取り出しても、最大24枚までDVDビデオのプログラムを記憶できます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが24枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

ジョイスティックを上下左右に操作して、[プログラムメモリー]の[オン]を選び、ENTERボタンを押す

■ プログラム再生を開始するには

ENTERボタン、または**再生(►)ボタン**を押します。

■ プログラムを終了するには

プログラムボタンを押してください。

■ プログラムの記憶を消去する

記憶したプログラムを消すにはジョイスティックを上下左右に操作してで**[プログラムメモリー]**の**[オフ]**を選び、**ENTERボタン**を押してください。ただし、プログラム入力画面に数字は残ったままです。

プログラムをすべて消去する

停止中にクリアボタンを押す

本機に記憶させたプログラムがすべて消去されます。他のディスクのプログラムメモリーは消去されません。

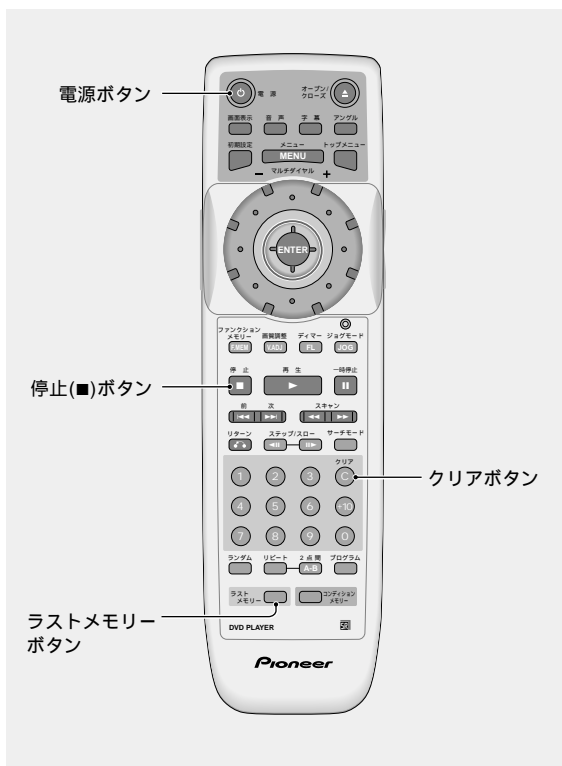
お知らせ

エフディスクについて

この機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

前に見たディスクのつづきを再生する（ラストメモリー）

DVD VIDEO　VIDEO CD

ラストメモリー機能を使うと、つづきから見る場所とそのときの設定内容を DVD ビデオは 5 枚まで、ビデオ CD は 1 枚記憶させておくことができます。

つづきから見る場所を記憶する

1 再生中にラストメモリーボタンを押す

画面に"**ラストメモリー**"と表示されます。

2 電源ボタンを押して電源を切るか、停止(■)ボタンを押す

つづきから見るには

1 つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れる

DVDの中には、ディスクを入れると自動的に再生を始めるものがあります。この場合、**停止(■)ボタン**を押して再生を止めてください。

2 停止中にラストメモリーボタンを押す

■ ラストメモリーを消去するには

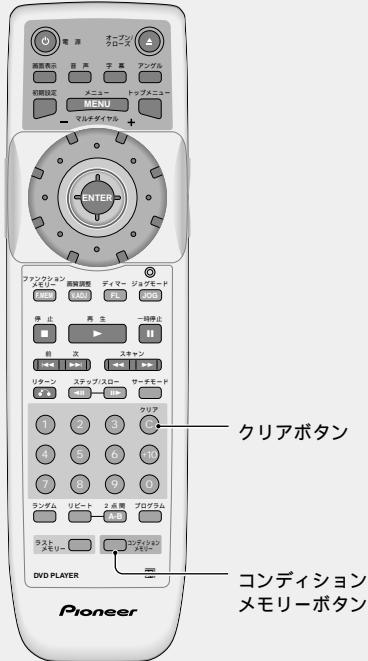
ラストメモリーボタンを押して、画面に"**ラストメモリー**"と表示されている間に**クリアボタン**を押します。表示窓の"**LAST MEMORY**"インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

お知らせ

- リジューム機能(**P.29**)と違い、一度記憶するとディスクを取り出しても記憶は消去されません。
- DVD-RW はラストメモリーできません。また、DVD ビデオにもラストメモリーできないものがあります。
- DVD ビデオでは、記憶された枚数が 5 枚を超えると古い記憶(最初に記憶したもの)から消去されます。
- ビデオCDでは、1枚のみ記憶することができますが、ディスクを取り出すと記憶が消去されます。
- ビデオ CD では、PBC 再生をしたときは、ラストメモリー再生ができない箇所があります。ラストメモリー再生ができないときは、メニューを出さずに再生してください(**P.26**)。

よく見るDVDの設定を記憶させる(コンディションメモリー)

DVD VIDEO

コンディションメモリー機能を使うと、よく見るDVDビデオの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。

ディスクが入った状態でコンディションメモリーボタンを押す

画面に"**コンディションメモリー**"と表示されます。記憶できる設定は以下の6つです。

- 画質調整(**P.32**)
- 画面表示(**P.63**)
- 視聴制限(**P.46**)
- 音声言語(**P.64**)
- マルチアングル(**P.48**)
- 字幕言語(**P.64**)

■ 記憶してあるディスクを入れると

画面に"**コンディションメモリー**"と表示され、自動的に記憶された設定になります。表示窓には"**COND.MEMORY**"インジケーターが点灯します。

■ コンディションメモリーを消去するには

コンディションメモリーボタンを押して、画面に"**コンディションメモリー**"と表示されている間に**クリアボタン**を押します。表示窓の"**COND.MEMORY**"インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

応用操作

お知らせ

- DVD-RWはコンディションメモリーできません。また、DVDビデオにもコンディションメモリーできないものがあります。
- 一度記憶された設定は、何度再生しても保持されます。
- 一度記憶すると電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。
- 記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶(最初に記憶したもの)から消去されます。
- ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切り換わるものがあります。

視聴制限をする（パレンタルロック）

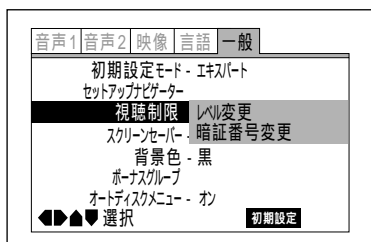
DVD VIDEO

暴力シーンなどを含む DVD ビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）を設けたものがあります。（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます。）本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7、レベル 8 のディスクを再生するためには暗証番号の入力が必要です。再生中に視聴制限レベルの設定、および変更はできません。

レベルを設定する

視聴制限のレベルと、暗証番号を設定します。

1 リモコンの初期設定ボタンを押す

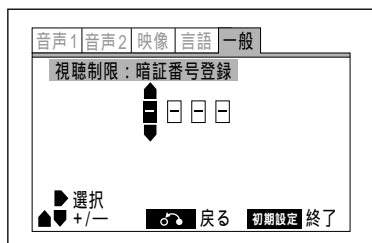
初期設定画面が表示されます。

2 ジョイスティックを左右に操作して、[一般]を選ぶ

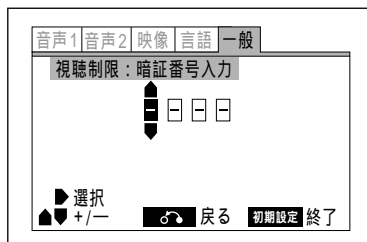
3 ジョイスティックを上下に操作して、[視聴制限]を選ぶ

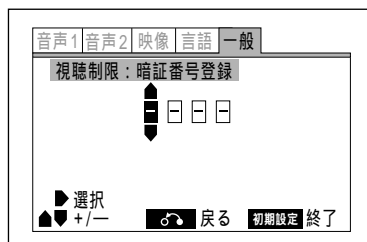
4 ジョイスティックを右に操作する

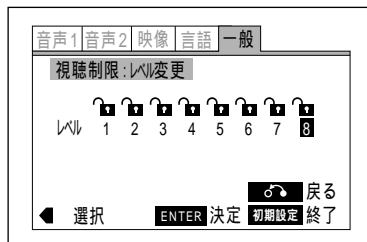
5 ジョイスティックを上下に操作して、[レベル変更]を選び、ENTERボタンを押す

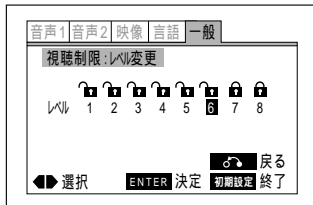
■ 暗証番号がまだ登録されていないとき

暗証番号登録の画面が表示されます。

■ 暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が表示されます。

6 数字ボタンを押して、暗証番号を4桁で入力する

1ケタごとに**ジョイスティック**を上下に操作して、数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に操作して、でケタを移動します。

7 ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。出荷時の設定はレベル8（制限しない）に設定されています。

8 ジョイスティックを左右に操作して、レベルを選ぶ

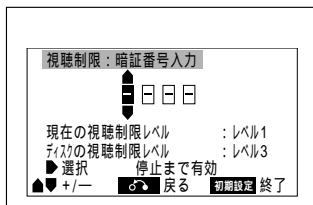
例えばレベル6を選んだ場合は、レベル7とレベル8のディスクに対して視聴制限がされます。

9 ENTERボタンを押す

視聴制限のレベルが設定されます。

視聴制限できるDVDを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと、再生は始まりません。

1 数字ボタンで暗証番号を入力する

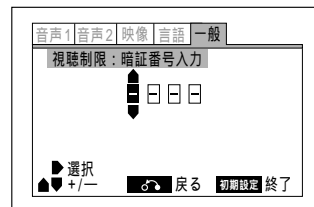
1ケタごとに**ジョイスティック**を上下に操作して、数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に操作して、ケタを移動します。

2 ENTERボタンを押す

再生が始まります。

暗証番号を変更する

1 前ページ「レベルを設定する」の手順1～4の操作を行う

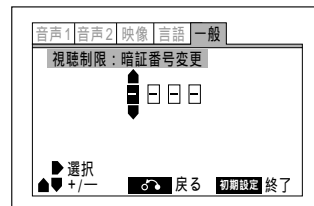
2 ジョイスティックを上下に操作して、[暗証番号変更]を選び、ENTERボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

3 数字ボタンを押して、現在の暗証番号を4桁で入力する

1ケタごとに**ジョイスティック**を上下に操作して、数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に操作して、ケタを移動します。

4 ENTERボタンを押す

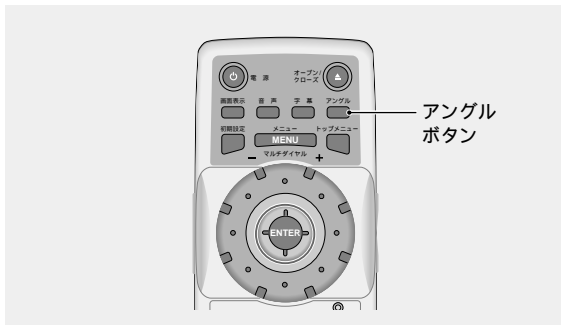
暗証番号変更の画面が表示されます。

5 数字ボタンを押して、新しい暗証番号を4桁で入力する

6 ENTERボタンを押す

暗証番号が変更されます。

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れたときは、出荷時に戻して(P.70)、設定し直してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

映像のアングルを切り換える（マルチアングル） DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録した DVD は、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録された DVD のジャケットにはマークが付いています。

1 再生中、マークが表示されたら、アングルボタンを押す

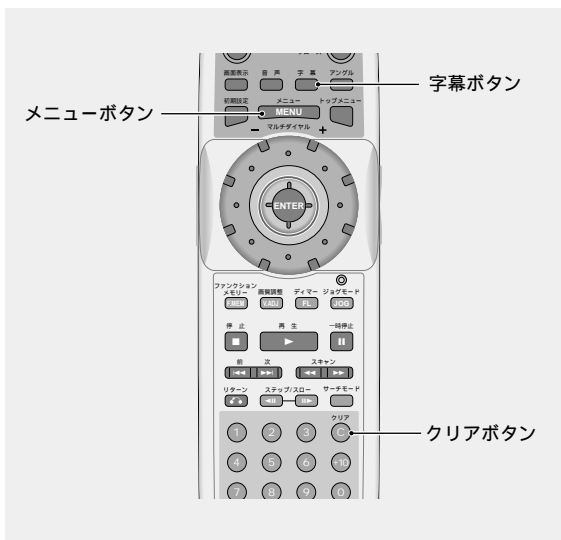
2 さらにアングルボタンを押して、お好みのアングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部の DVD では、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。
- マークを表示させたくないときは、初期設定画面の**[アングルインジケーター]**を**[オフ]**にします(**P.63**)。

再生中に字幕を切り換える DVD DVD-RW

複数の言語で字幕が記録された DVD を再生しているときは、表示する字幕を変更することができます。

1 DVDを再生中に字幕ボタンを押す

現在選択している字幕が表示されます。

2 さらに字幕ボタンを押す

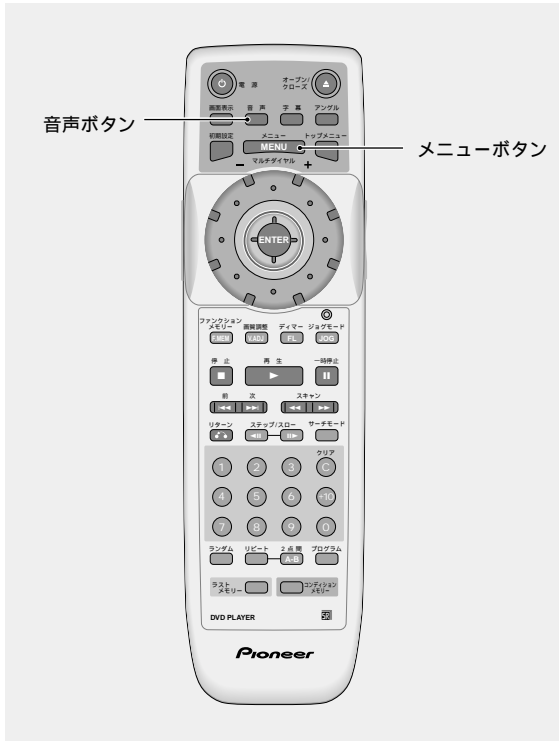
押すたびに字幕表示が切り換わります。

お知らせ

- 字幕を消すには**字幕ボタン**を押したあと**クリアボタン**を押すか、**字幕ボタン**を押して**[オフ]**を選んでください。
- DVDでは字幕の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合には**メニューボタン**を押して、メニュー画面を表示させてから選択します(**P.26**)。
- ここで切り換えた字幕言語は一時的なものです。リジューム機能(**P.29**)を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、初期設定画面の**[字幕言語]**(**P.64**)で選択した字幕言語に戻ります。

再生中に音声を切り換える

DVD CD VIDEO CD DVD-RW

複数の言語で音声が記録されたDVDを再生しているときは、再生する音声を変更することができます。音声が二重音声(二カ国語)で録画されているDVD-RWを再生しているときは、**主音声、副音声、主/副音声**を切り換えます。ビデオCDやCDでは**ステレオ、1/L（左）、2/R（右）**を切り換えることができます。

1 再生中に音声ボタンを押す

現在選択している音声が表示されます。

2 さらに音声ボタンを押す

押すたびに音声が切り換わります。

お知らせ

- 複数の音声が記録されたDVDオーディオでも、再生中に音声を切り換えることができます。
- DVDの音声の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合には**メニューボタン**を押して、メニュー画面を表示させてから選択します(**P.26**)。
- 音声がステレオで録画されているDVD-RWでは、主音声、副音声の切り換えはできません。
- ここで切り換えた音声言語は一時的なものです。リジューム機能(**P.29**)を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、初期設定画面の**[音声言語]**(**P.64**)で選択した字幕言語に戻ります。
- ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になるときがあります。
- 初期設定画面の**[デジタル出力]**で**[オン]**を選び、**[リニアPCM出力]**で**[ダウンサンプリグオン]**を選んでいるときは、"**ダウンサンプルデジタル出力**"と表示されることがあります。
- DVDのスライドショー(**P.75**)の再生中に音声を切り換えると、しばらくの間(最大約30秒間)音声が途切れます。
- カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

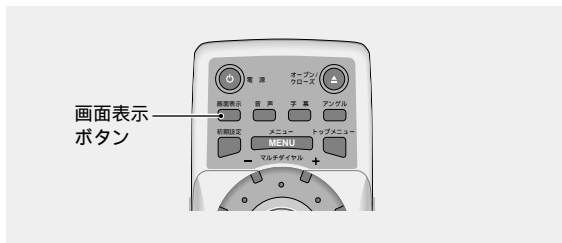
ディスクの情報を見る

DVD VIDEO CD VIDEO CD DVD-RW

DVDのタイトル/グループやチャプター/トラック情報、またはビデオCDやCDのトラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。

再生中にディスクの情報を見る

再生中に画面表示ボタンを繰り返し押す

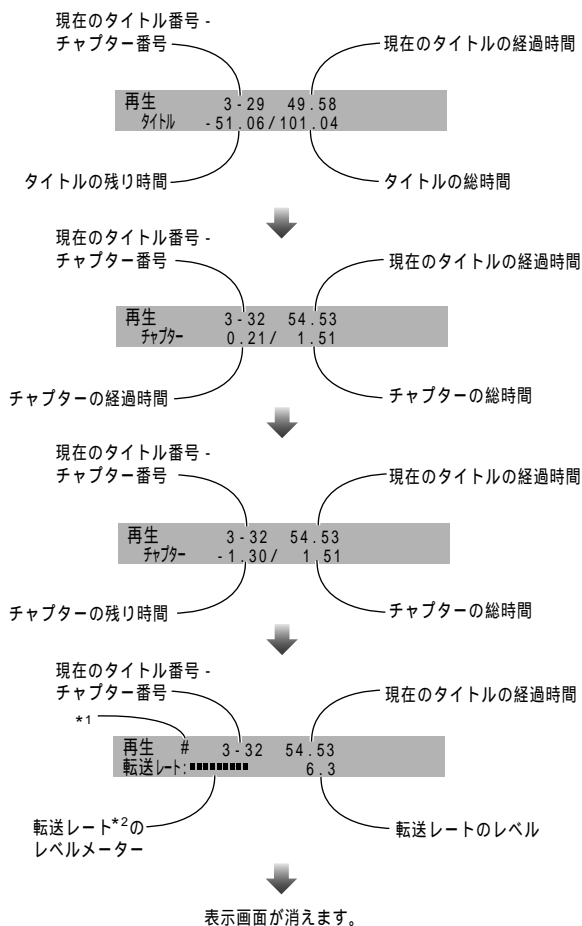
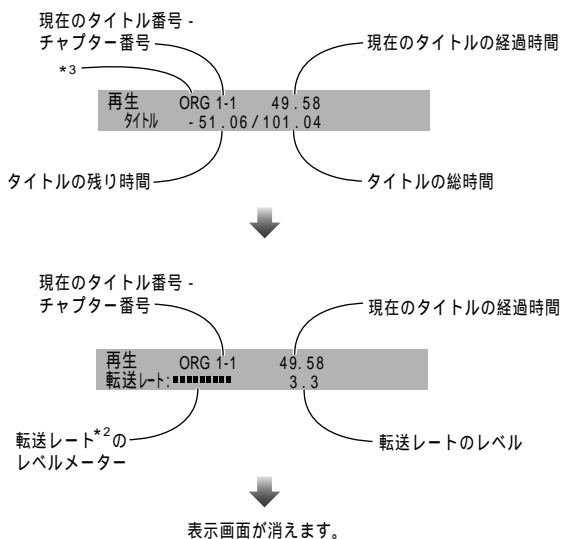
押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。**画面表示ボタン**を押し続けている間、ディスクの残り時間を表示します。

DVD VIDEO のとき

※ **初期設定画面で[映像]の[フレームサーチ]を[オン]にしているとき(P.63)、フレーム番号が表示されます(一時停止、またはコマ送り中のみ表示します)。**

フレーム番号

一時停止 3−29 49.58 06
タイトル −51.06／101.04

DVD-RW のとき

表示画面が消えます。

お知らせ

*1 24コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に表示されます。
*2 DVDビデオに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。
*3 "**ORG**"はオリジナル再生中を表わしています。"**PL**"と表示されたときは、プレイリスト再生中を表わしています(P.27)。
- タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。
- ディスクによってはディスク情報が表示されないものがあります。
- 表示される情報の内容はディスクの種類(DVD、DVD-RW、ビデオCD、CD)によって異なります。

DVD AUDIO のとき

現在のグループ番号－トラック番号
現在のトラックの経過時間

再生　3-29　49.58
トラック　-51.06／101.04

トラックの残り時間
トラックの総時間

↓

現在のグループ番号－トラックー番号
現在のトラックの経過時間

再生　3-32　54.53
グループ　-0.21／　1.51

グループの残り時間
グループの総時間

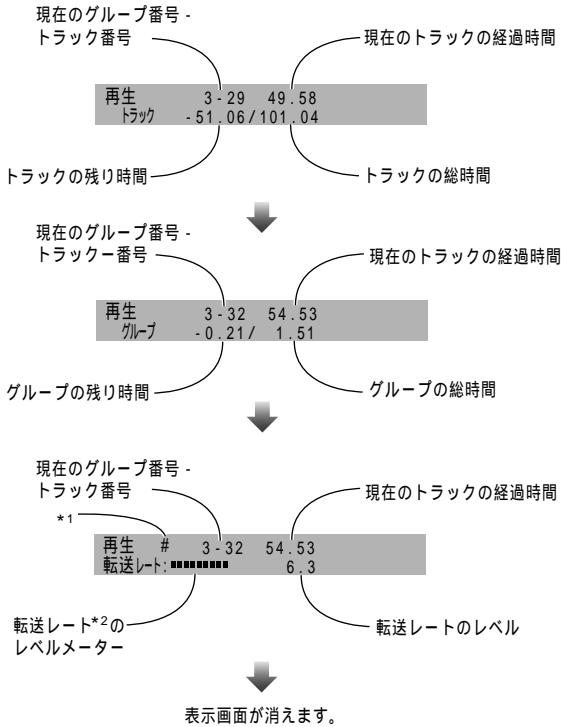
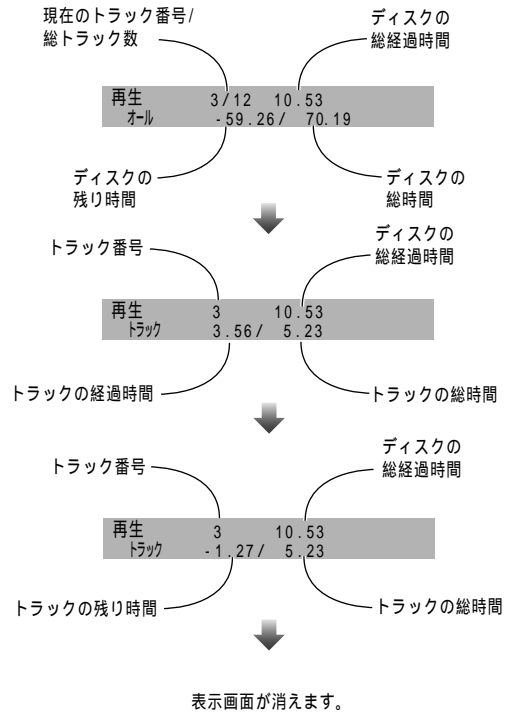
↓

現在のグループ番号－トラック番号
現在のトラックの経過時間
*1

再生　#　3-32　54.53
転送レート:▮▮▮▮▮▮▮▮▮　6.3

転送レート*2のレベルメーター
転送レートのレベル

↓

表示画面が消えます。

お知らせ

*1 24 コマフィルムのプログレッシブ映像信号が記録されている場合に表示されます。

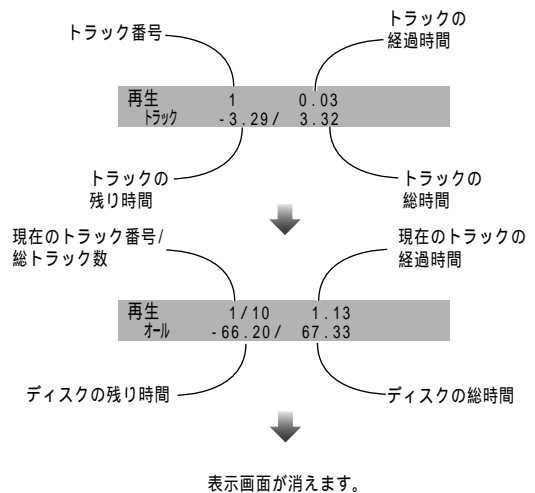
*2 DVD オーディオに記録されている音声の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、音質が良いとはかぎりません。

VIDEO CD のとき

表示画面が消えます。

CD のとき

表示画面が消えます。

応用操作

お知らせ

ビデオCDのPBC再生中、またはファイナライズしていないCD-Rを再生中は、表示されないディスク情報があります。

停止中にディスクの情報を見る

停止中に画面表示ボタンを押す

- ディスク情報の画面が表示されます。
- ディスクの情報が2ページ以上あるときは、**ジョイスティック**を右に操作すると次の画面が表示されます。

DVD VIDEO のとき

タイトルとそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

1/2とは、情報が2ページあり、この画面がその1ページ目であることを表わします。

DVD AUDIO のとき

グループとそれぞれのグループ内のトラック数が表示されます。

ボーナスグループは、キーナンバーを入力する前は灰色で表示されます。入力方法については**P.68**をご覧ください

CD VIDEO CD のとき

トラックとそれぞれのトラック時間が表示されます。

インフォメーション：コンパクトディスク

トータルタイム 72.04

トラック	タイム	トラック	タイム
01	5.23	06	6.51
02	4.55	07	3.18
03	6.13	08	6.50
04	5.45	09	4.16
05	5.10	10	3.22

1/2　画面表示 終了

DVD-RW のとき

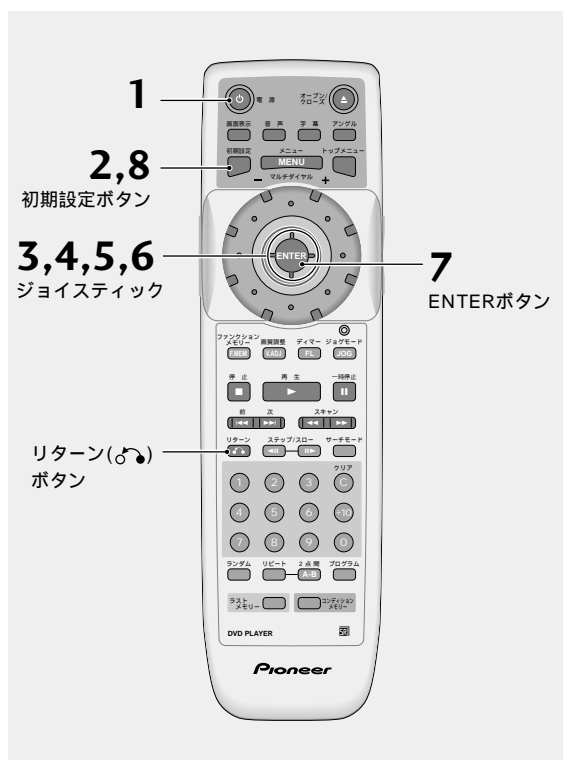
DVD-RWでは、ディスクの名前とオリジナル、およびプレイリストのタイトル数が表示されます。

■ ディスク情報を消すには

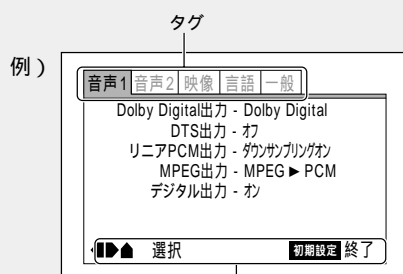
画面表示ボタンをもう一度押します。ディスク情報の画面が消えます。

いろいろな設定

初期設定画面の操作のしかた

初期設定画面を使って、さまざまな設定を行うことができます。
ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置について説明します。

1 リモコンの電源ボタン(本体の⏻スタンバイ/オンボタン)を押す

電源が入っている場合は手順2に進んでください。

2 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

3 ジョイスティックを左右に操作して、タグ([音声1]、[音声2]、[映像]、[言語]、[一般])を選ぶ

4 ジョイスティックを上下に操作して、設定したい項目を選ぶ

5 ジョイスティックを右に操作して、選択肢の欄にカーソルを移動させる

6 ジョイスティックを上下に操作して、設定したい選択肢にカーソルを合わせる

7 ENTERボタンを押す

他の項目の設定を変更するときは、手順3〜7を繰り返します。

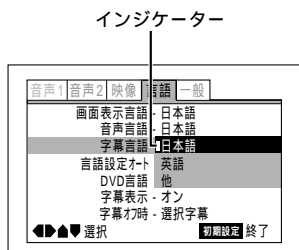
8 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

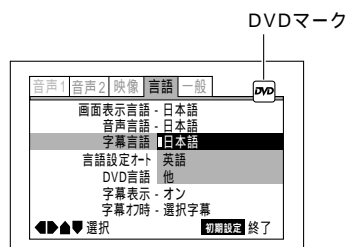
お知らせ

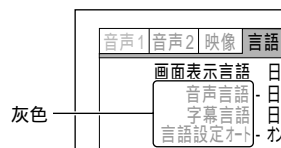
- 初期設定を操作すると、リジューム機能(**P.29**)が解除される場合があります。
- 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。

■ ディスクの種類により変更後すぐに働く設定項目

DVD、ビデオCD、CDといったディスクの種類によって、変更後すぐに働く設定項目があります。本機では、選択項目の左にあるインジケーターの色で確認できます。下記の表をご覧ください。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVDのみ
橙色	CD/DVDオーディオ
緑色	ディスクの種類にかかわりません

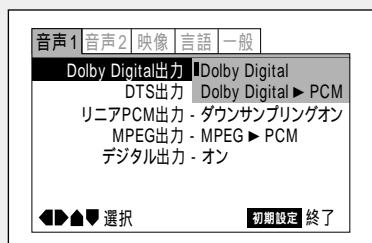
■ DVD にのみ働く設定項目

ビデオCDまたはCDが入っているとき、初期設定画面でDVDしか働かない項目を選ぶと、画面の右上に青いDVDマークが表示されます。

■ 再生中に変更できない項目

再生中では設定の変更ができない項目は、灰色で表示されます。

デジタル出力の設定をする

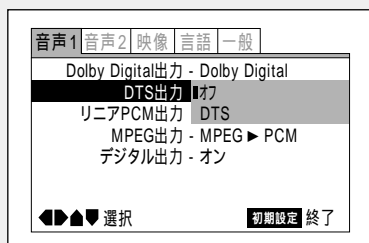
本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。適切な設定をしないと、ノイズが発生することがありますので注意してください。お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。

ドルビーデジタル出力

つないだアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を[**Dolby Digital►PCM**]にします。

Dolby Digital：
ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます(出荷時の設定)。

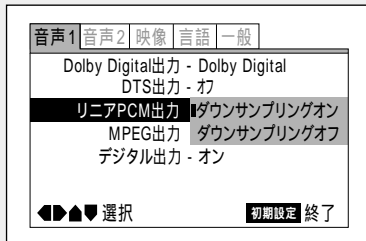
Dolby Digital►PCM：
Dolby Digital信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

DTS出力

つないだアンプがDTS対応の場合は、設定を[**DTS**]にします。

オフ ： DTSに対応していないアンプと接続したときに選びます(出荷時の設定)。

DTS ： DTS対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

リニアPCM出力

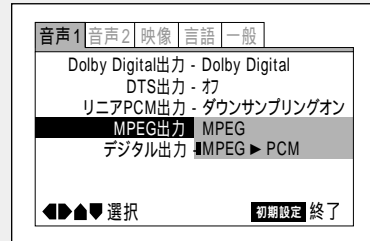
つないだアンプが 96kHz 対応の場合は、設定を**[ダウンサンプリングオフ]**にします。この設定は再生中に変更できません。

ダウンサンプリングオン：
各系統の音声周波数を 48kHz/44.1kHz にダウンサンプリングして出力します。96kHz に対応していないアンプなどと接続したときに選びます(出荷時の設定)。

ダウンサンプリングオフ
96kHz 対応アンプまたは DAC と接続したときに選びます。

お知らせ

- **[ダウンサンプリングオフ]**に設定していても、ディスクによっては、48kHz/44.1kHz に強制的に変換されたり、デジタル出力されないことがあります。
- DVD オーディオの 192kHz サンプリング音声のとき、**[ダウンサンプリングオフ]**に設定していてもデジタル出力は強制的に96kHzにダウンサンプルされます。

MPEG出力

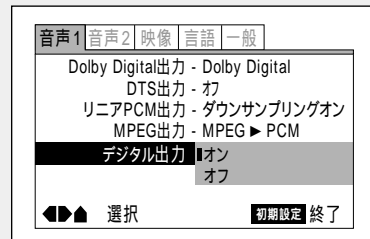
つないだアンプがMPEG対応の場合は、設定を**[MPEG]**にします。

MPEG：
MPEG 対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

MPEG▶PCM：
MPEG 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。MPEG に対応していないアンプと接続したときに選びます(出荷時の設定)。

お知らせ

DVD オーディオでは、ダウンミックスを禁止しているものがあります。この場合、デジタル音声は出力されません。

デジタル出力をオン/オフする エキスパート

デジタル音声出力端子から音声信号を出力しないように設定できます。

オン ： 後面のデジタル出力端子から音声を出力します(出荷時の設定)。

オフ ： 後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

音声出力の設定をする

ドルビーデジタル音声を調節する

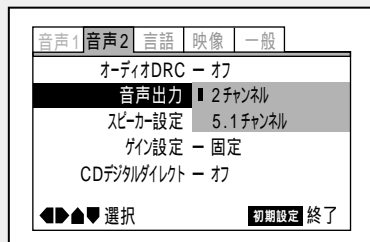
音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調節します。オーディオDRC(ダイナミックレンジコンプレッション)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

MAX ： 最も効果があります。
MID ： MAX と MIN 中間の効果があります。
MIN ： 少し効果があります。
オフ ： オーディオ DRC を解除します(出荷時の設定)。

お知らせ

- オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーまたは AV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定をお選びください。

音声出力の設定

AVアンプの5.1チャンネルアナログ音声入力端子と接続したときに、設定を[**5.1 チャンネル**]にします。

2 チャンネル ： 音声出力(フロント)端子に接続したとき選択します(出荷時の設定)。
5.1 チャンネル ： マルチチャンネル音声出力端子に接続したとき選択します。

お知らせ

DVDビデオのスライドショー(**P.75**)の再生中に音声を切り換えると、しばらくの間(最大約 30 秒間)音声が途切れます。

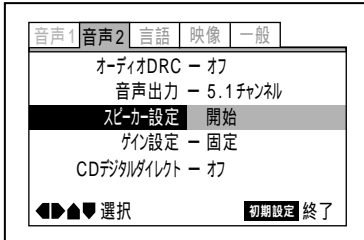
■ 出力される音声について

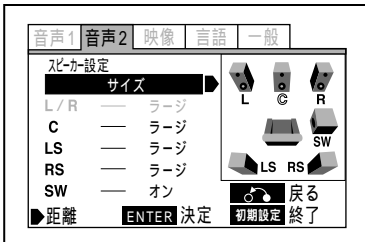
音声の種類		出力モード	音声出力(5.1CH)			
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス左/右	–	–	–
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	左/右	–	–	–
		2CH	左/右	–	–	–
	リニアPCM(DVDビデオ)	5.1CH	左/右	–	–	–
		2CH	左/右	–	–	–
	リニアPCM(DVDオーディオ)	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス *1 左/右	–	–	–
	MPEG	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	左/右	–	–	–
	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2
		2CH	2CHダウンミックス左/右	–	–	–
CD		5.1/2CH	左/右	–	–	–
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	–	–	–
DVD-RW		5.1/2CH	左/右 *3	–	–	–

＊1　DVD オーディオではダウンミックスを禁止しているものがあります。その場合は、[**2チャンネル**]に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
＊2　超低域成分
＊3　モノラル音声のときもフロント左 / 右から出力されます。
(網掛け)　音声は出力されません。
・　ディスクに一部のチャンネルが記録されていない場合は、そのチャンネルから音声は出力されません。

スピーカーの設定をする

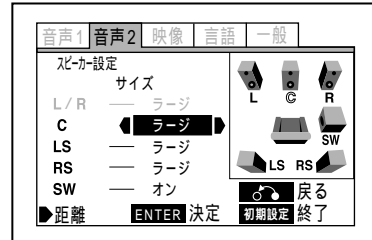
スピーカーの設定

マルチチャンネル音声出力端子にAVアンプを接続している場合に設定します。また適切なサラウンド効果を得るために、接続しているスピーカーまでの距離を設定します。

1 ENTERボタンを押して[スピーカー設定]を選ぶ

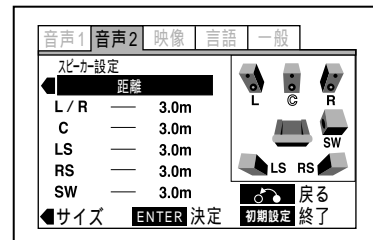
設定画面になります。

2 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選びカーソルを下へ移動する

L/R ：フロントスピーカー
C ：センタースピーカー
LS ：左サラウンドスピーカー
RS ：右サラウンドスピーカー
SW ：サブウーファー

3 ジョイスティックを左右に操作してスピーカーのサイズ、または接続しているか、していないかを選ぶ

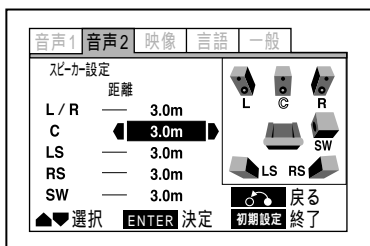
L/Rはラージに固定されているため設定することができません。LSとRSは同時に切り換わります。

ラージ ：大きいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ12cm以上)。(出荷時の設定)
スモール ：小さいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ12cm未満)。
オフ ：接続していないときに選択します。
オン ：サブウーファー(SW)を接続しているときに選択します。

4 ジョイスティックを上に操作して[サイズ]の位置にカーソルを戻す

5 ジョイスティックを右に操作して[距離]にする

6 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選びカーソルを下へ移動する

7 ジョイスティックを左右に操作してスピーカーの距離を設定する

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を設定します。設定した距離に合わせて、各スピーカーから出力されるデュレイタイム(遅延時間)が設定されます。設定できる範囲は以下のとおりです。

[L/R] ：0.3m～9m
[C]、**[SW]** ：**[L/R]**の距離から－2m～+2m
[LS]、**[RS]** ：**[L/R]**の距離から－6m～+2m

お知らせ

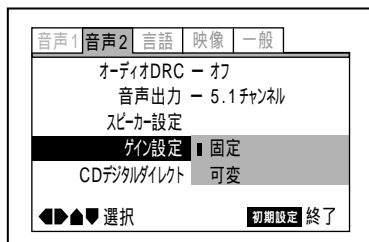
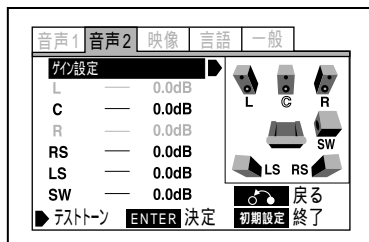
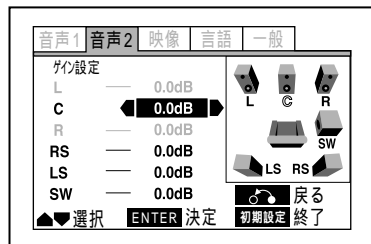
マルチチャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム（遅延時間）を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。

8 ENTERボタンを押して設定を決定する

お知らせ

- 設定するスピーカーは、画面上で文字が青く表示されている箇所です。
- **[オン]**に設定すると、画面上でスピーカーの絵が黄色くなります。
- **[SW(サブウーファー)]**を**[オン]**にすると、LFE（超低音の効果音）はサブウーファーから出力します。
- DVD オーディオの場合は、スピーカーの設定に関係なく、常に**[ラージ]**で再生されます。
- DVDオーディオの場合は、**[C(センター)]**、**[LS(左サラウンド)]**、および**[RS(右サラウンド)]**のいずれかを**[オフ]**に設定すると、強制的に 2CH にダウンミックスされた音声が出力されます(ただしダウンミックスを禁止している DVD オーディオを除く)。

スピーカーの出力レベルを調整する(ゲイン設定)

DVD、またはDTS-CDにのみ有効です。マルチチャンネル音声出力端子に AV アンプを接続している場合に設定します。各スピーカーの出力を設定して、それらを確認することができます。出荷時の設定は**[固定]**です。出力レベルを調整するときは**[可変]**を選びます。

■ [可変]を選んだとき

1 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選ぶ

2 ジョイスティックを左右に操作して出力レベルを設定する

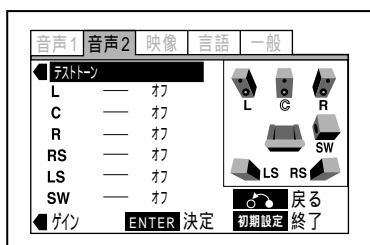
－6.0dB～6.0dBまで0.5dB単位で調整します。フロント左右の出力レベルは固定されているため調整できません。

C ：センタースピーカー
RS ：右サラウンドスピーカー
LS ：左サラウンドスピーカー
SW ：サブウーファー

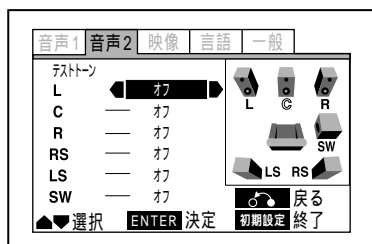
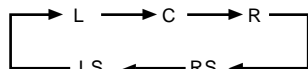
3 ジョイスティックを上に操作して[ゲイン設定]の位置にカーソルを戻す

テストトーンを聞くときは手順4へ、テストトーンを聞かずに設定を終了するときは手順7へ進みます。

4 ジョイスティックを右に操作して、[テストトーン]にする

[音声出力]が**[5.1チャンネル]**に設定されていないとテストトーンは出力されません。

5 ジョイスティックを上下に操作してスピーカーの種類を選ぶ

6 ジョイスティックを左右に操作して、設定した出力レベルを確認する(テストトーン)

音の出ているスピーカーは文字が黄色で表示されます。

オフ　：テストトーンは出ません。
オン　：テストトーンが出ます。
オート：テストトーンが以下の順で出ます。

■ テストトーンを聞きながら出力レベルを微調整する

1. **ジョイスティック**を上に操作して[**テストトーン**]の位置にカーソルを戻す
2. **ジョイスティック**を左に操作して[**ゲイン設定**]にする
3. **ジョイスティック**を操作してテストトーンが出ているスピーカーを選び出力レベルを調整する

■ テストトーンを止める

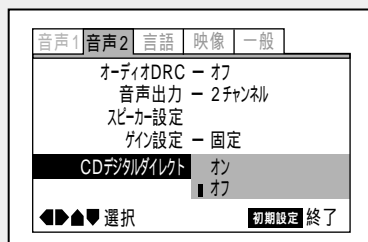
[**テストトーン**]の選択肢から[**オフ**]を選ぶ

7 ENTERボタンを押して設定を決定する

お知らせ

- ゲイン設定は[**音声出力**]を[**5.1 チャンネル**]に設定しているときのみ有効です。
- [**可変**]を選んだとき、すべてのスピーカーの出力レベルは一律－6.0dBに設定されます。その数値から、[**C(センター)**]、[**LS(左サラウンド)**]、[**RS(右サラウンド)**]、および[**SW(サブウーファー)**]の各出力レベルを－6.0dB～6.0dBの範囲で調整します。したがって、[**可変**]で設定できる最大出力レベル(6.0dB)とは、[**固定**]と同じ出力レベルになります。
そのため、[**可変**]を選んだときはほとんどの場合、[**固定**]の出力レベルより小さくなります。
- [**音声出力**]の設定(**P.56**)が[**2 チャンネル**]のときや、ディスクを再生しているとき、ディスクテーブルが開いているときは、テストトーンは出力されません。

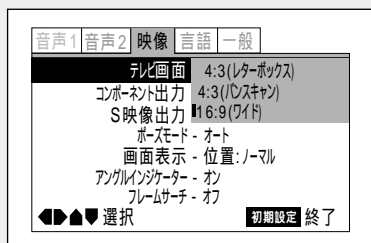
よりよい音質でCDを聞く(CDデジタルダイレクト)

CD再生のときこの設定を[**オン**]にすることで、CD再生に不要な回路をバイパスできるため、高音質の再生が楽しめます。

オン　：　CD再生に不要な回路をバイパスします。
オフ　：　DTS CDの再生に必要な回路を経由します(出荷時の設定)。

ご注意！
DTS CDを再生するとき、この設定を[**オン**]にするとノイズが発生しますので、ご注意ください。

[映像]の設定をする

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときこの設定は不要です。
DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横16：縦9で記録されています。従って、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4：縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いの場合は、この設定を行ってください。この設定は再生中に変更できません。**P.61**の表も合わせてご覧ください。

4:3(レターボックス)：
従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式(次のページ)で見たいときに選択します。

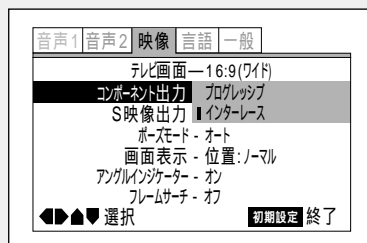
4:3(パンスキャン)：
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式(次のページ)で見たいときに選択します。

16:9(ワイド)：
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します(出荷時の設定)。

お知らせ

- アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。
- DVD-RWでは、パンスキャン表示できないことがあります。このときは自動的にレターボックス表示になります。

映像の出力方式を切り換える

コンポーネント接続したテレビがプログレッシブ入力対応のとき、インターレーススキャンとプログレッシブスキャンのどちらの方式で出力するかを切り換えます。
この設定は、本体後面のコンポーネント映像出力切換スイッチで**[メニュー切換]**が選ばれているときのみ設定できます(**P.19**)。

プログレッシブ： きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

インターレース： プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します。(出荷時の設定)

お知らせ

プログレッシブ入力対応でないテレビと接続したにもかかわらず、この設定で**[プログレッシブ]**を選ぶと、映像が出力されなくなります。間違えて設定してしまったときは、後面のコンポーネント映像出力切換スイッチを**[525i(480i)]**に切り換えてください。

■ 本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは当プレーヤーと完全な互換が取れていない為、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は当プレーヤーの出力をインターレースに切り換えてください。また当社のプログレッシブ対応テレビと当プレーヤーとの互換性についてご質問のある場合は当社のテクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

＊ 当プレーヤーと互換が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ
PDP-502HD

■映像の見えかた

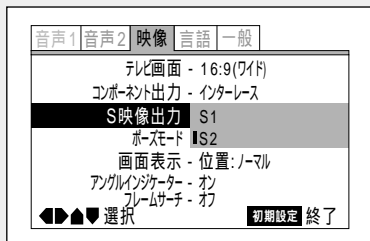
[従来サイズのテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	4:3(レターボックス)	○ 上下に帯がつきますが正しく見えます
	4:3(パンスキャン)	○ 画面の左右が切れますが正しく見えます このように見たくない場合は、本機の設定を[**4:3(レターボックス)**]に切り換えてください。
	16:9(ワイド)	× 縦長に見えます このように見える場合は、本機の設定を[**4:3(レターボックス)**]、または[**4:3(パンスキャン)**]に切り換えてください。
4:3のディスク	4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) 16:9(ワイド) いずれの設定でも	○ 正しく見えます

[ワイドテレビのとき]

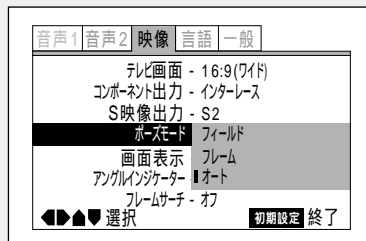
DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	16:9(ワイド)	○ 正しく見えます ディスクによっては上下に帯がつくことがあります。
4:3のディスク	16:9(ワイド)	○ 左右に帯がつきますが正しく見えます
		× 横長に見えます このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

S映像出力を切り換える エキスパート

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。本機とTVをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S1]**を選択してください。

S1　:　S1 映像信号が出力されます。

S2　:　S2 映像信号が出力されます(出荷時の設定)。

静止画像を切り換える エキスパート

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。

フィールド：　静止画状態のとき、画像のブレをなくします。

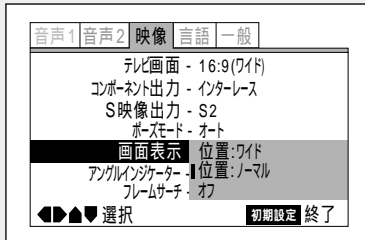
フレーム　：　通常モードです。

オート　：　フィールドとフレームを自動的に切り換えます(出荷時の設定)。

お知らせ

ディスクによっては**[フィールド]**を選択しても画質が鮮明にならない場合があります。

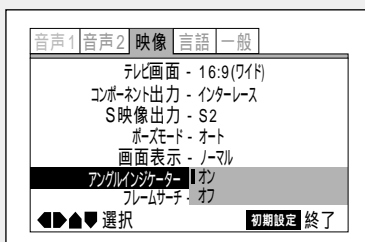
画面表示の位置を選択する エキスパート

本機が表示する初期設定画面などの表示位置をテレビの種類に合わせて設定します。DVDディスクの画面比率が4:3のときに設定します(詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください)。また、プレイ、ストップなど、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないとき設定を変更します。

位置:ワイド ：ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき、画面表示が欠けるのを避けます。

位置:ノーマル ：ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき、こちらを選択します(出荷時の設定)。

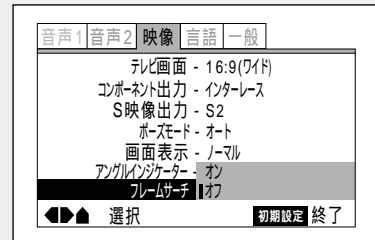
オフ ：画面表示をしません。

アングルマークをオン/オフする エキスパート

再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。

オン： 画面にマークを表示します(出荷時の設定)。

オフ： 画面にマークを表示しません。

フレームサーチを設定する エキスパート

フレームサーチを行うときに設定します(**P.31, 50**)。

オン： フレームサーチを行います。テレビ画面にフレーム番号が表示されます(**P.50**)。本体表示窓にフレーム番号は表示されません。

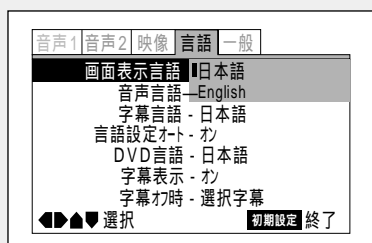
オフ： フレームサーチを行いません(出荷時の設定)。

初期設定

[言語]の設定をする

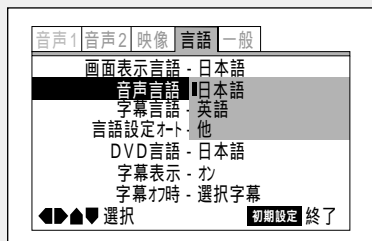
DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の**[言語]**にあるさまざまな言語と字幕に関する設定を行います。

画面表示言語を設定する

初期設定画面などに表示する言語を切り換えます。

日本語　：　画面表示の言語が日本語になります(出荷時の設定)。

English：　画面表示の言語が英語になります。

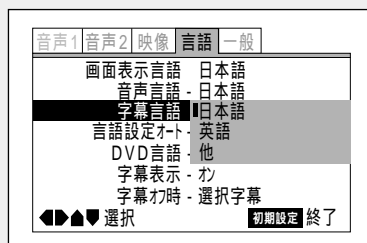
音声言語を設定する

音声言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語　：　音声言語が日本語になります(出荷時の設定)。

英語　：　音声言語が英語になります。

他　：　136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは次のページの**「字幕言語 / 音声言語 /DVD 言語の設定で[他]を選んだとき」**をご覧ください。

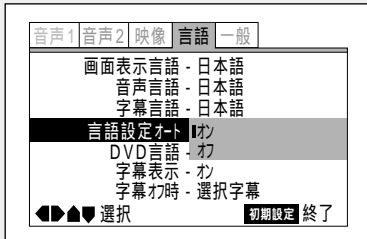
字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語　：　日本語の字幕を表示します(出荷時の設定)。

英語　：　英語の字幕を表示します。

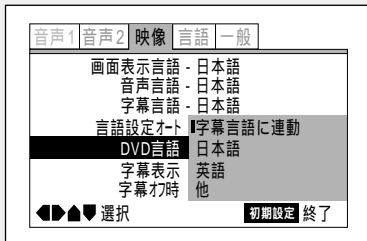
他　：　136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの**「字幕言語 / 音声言語 /DVD 言語の設定で[他]を選んだとき」**をご覧ください。

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

オン： **[音声言語]**と**[字幕言語]**が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります(出荷時の設定)。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。ただし、ディスクによってはこのように動作しないものもあります。

オフ： 再生中の音声のオート設定が解除され、**[音声言語]**と**[字幕言語]**で設定している音声と字幕になります。

DVDのメニュー言語を設定する エキスパート

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。
この設定は再生中に設定できません。

字幕言語に連動：
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます(出荷時の設定)。

日本語 ： 日本語でメニュー画面が表示されます。

英語 ： 英語でメニュー画面が表示されます。

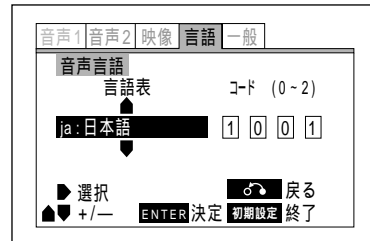
他 ： 136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは右の段落の**「字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき」**をご覧ください。

■ 字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で[他]を選んだとき

右の言語コード表を見ながら操作します。

1 [他]を選び、ENTERボタンを押す

言語選択画面が表示されます。

例）音声言語の場合

2 ジョイスティックを左右に操作して[言語表]、または[コード]を選ぶ

● **[コード]で言語を選ぶ方法(「フランス語」を選ぶ場合)**

リモコンの**数字ボタン**の**0、6、1、8**を押します。
- 1ケタごとに**ジョイスティック**を上下に操作して、数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に操作して、ケタを移動します。
- コードの( )の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

● **[言語表]で言語を選ぶ方法(「フランス語」を選ぶ場合)**

ジョイスティックを上に2回押します。
- 言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは次のページの言語コード表をご覧ください。

3 ENTERボタンを押す

お知らせ

DVDに収録されていない言語を設定した場合、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

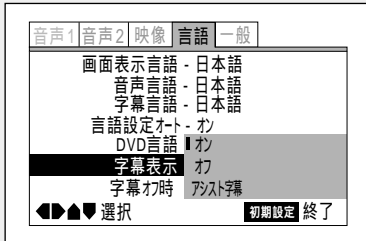
■ 言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Chinese (zh)	2608
Dutch (nl)	1412
Portuguese (pt)	1620
Swedish (sv)	1922
Russian (ru)	1821
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714

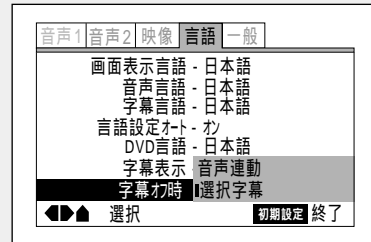
言語名(言語コード)	入力コード
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Quechua (qu)	1721

言語名(言語コード)	入力コード
Rhaeto-Romance (rm)	1813
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

字幕表示をオン/オフする エキスパート

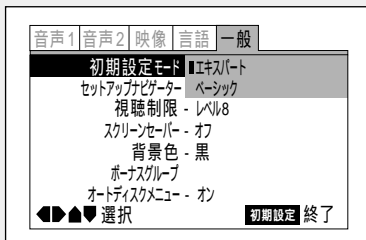
字幕を表示するかしないか、またはアシスト字幕を表示するかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

オン　：字幕を表示します(出荷時の設定)。
オフ　：字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります(右の段落)。
アシスト字幕：
アシスト字幕は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

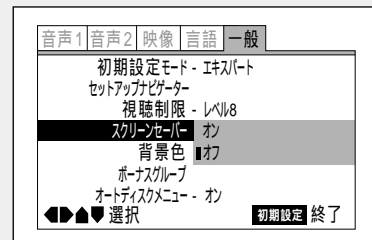
DVDの中には、字幕表示を[オフ]にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

音声連動：　再生されている音声の言語で字幕を表示します。
選択字幕：　初期設定画面の**[字幕言語]**で選択されている言語で字幕を表示します(出荷時の設定)。

[一般]の設定をする

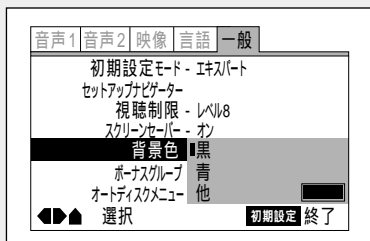
初期設定の種類を変更する

[初期設定モード]を**[ベーシック]**に設定すると、基本的な設定項目だけ表示できるようになり、画面にその設定の簡単な説明が表示されます。その情報を画面で確認しながら設定変更することができます。この取扱説明書では、**[エキスパート]**で設定する項目にエキスパートがついています。

エキスパート　：より細かな設定を表示します(出荷時の設定)。
ベーシック　：基本的な設定を表示します。

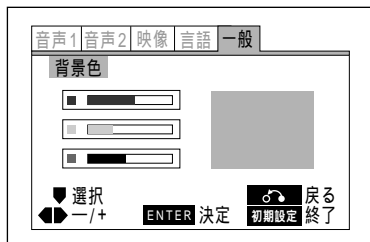
スクリーンセーバーを設定する エキスパート

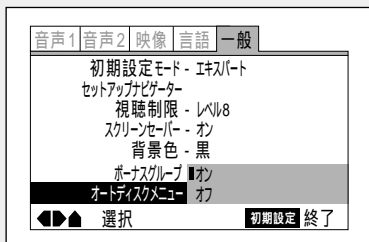
スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象）を防ぐための機能です。

オン　：スクリーンセーバー機能が働きます。
オフ　：スクリーンセーバー機能が働きません(出荷時の設定)。

背景色を選ぶ エキスパート

ディスクが停止しているときの画面の色を選びます。

黒： 黒色の背景色を表示します(出荷時の設定)。
青： 青色の背景色を表示します。
他： お好みの背景色を設定できます。

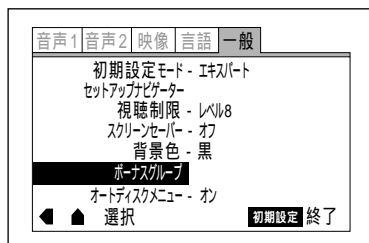
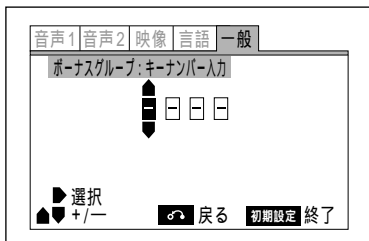
■ [他]を選んだとき

下の画面で色合いを調整し、**ENTERボタン**を押します。

メニュー画面を自動的に表示する(オートディスクメニュー) エキスパート

ディスクを入れたあと、自動的にメニュー画面を表示させたいときに設定します。

オン　：　メニュー画面を自動的に表示します(出荷時の設定)。
オフ　：　メニュー画面を自動的に表示しません。

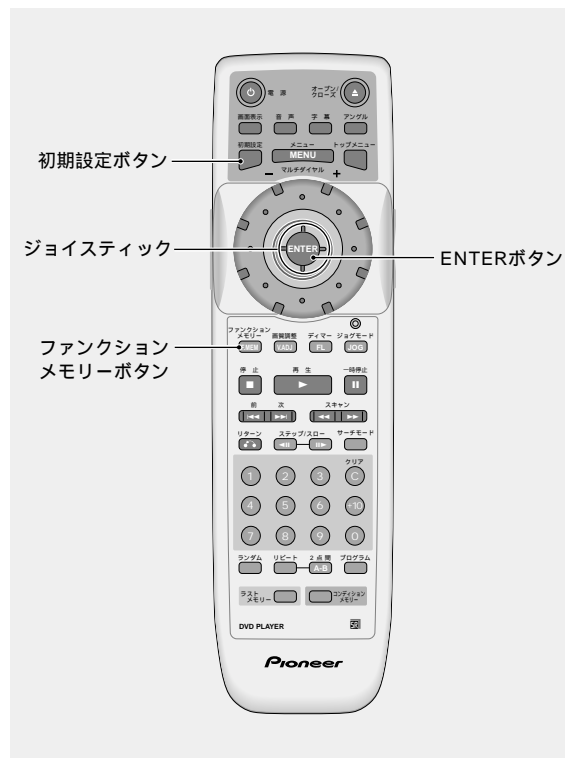
ボーナスグループの設定をする

DVD AUDIO

DVDオーディオの中には、「ボーナスグループ」とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。
この設定は再生中に選択できません。

キーナンバー入力画面

お知らせ

ディスクが取り出されるか、または電源が切られると、入力されたキーナンバーの記憶は消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

よく変更する初期設定の項目を記憶する (ファンクションメモリー)

初期設定の項目をすぐに呼び出すのに便利です。5 項目まで記憶させることができます。

記憶のしかた

1 **初期設定ボタンを押す**

2 **記憶したい項目を選ぶ**

3 **ファンクションメモリーボタンを押す**

記憶されると、項目の左側に"**FM**"が表示されます。

4 **手順2～3を繰り返す**

5 **初期設定ボタンを押す**

呼び出しかた

1 **初期設定画面が出てない状態でファンクションメモリーボタンを押す**

項目のリストを表示します。

2 **項目を選び、ENTERボタンを押す**

初期設定画面が表示されます。この画面で設定や変更ができます。

3 **初期設定ボタンを押す**

■ 記憶した内容を消すには

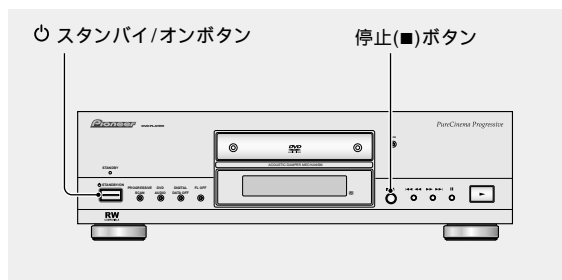
1. **初期設定ボタン**を押します。
2. 消したい項目を選びます。
3. **ファンクションメモリーボタン**を押します。
   項目の左側の"**FM**"表示が消えます。
4. **初期設定ボタン**を押します。

お知らせ

- 5 項目を超えて記憶させようとすると、画面にメッセージまたは が表示されます。その場合は、記憶した内容を消してから記憶してください。
- ディスク再生中に設定できない項目(灰色表示の項目)を記憶することはできません。このとき画面にメッセージまたは が表示されます。詳しくは、**P.77** の「***初期設定画面の項目別さくいん***」をご覧ください。

初期設定

すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

電源が待機状態(スタンバイ状態)のとき、停止(■)ボタンを押しながら、本体の⏻スタンバイ/オンボタンを押す

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

ご注意：
この操作を行うと、ラストメモリー(**P.44**)、コンディションメモリー(**P.45**)やプログラムメモリー(**P.43**)など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

その他

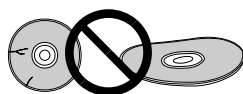
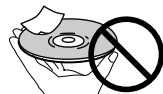
使用上の注意

ディスクの取り扱いかた

■ 取り扱いかた

両手で持つ場合

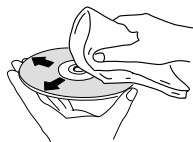
片手で持つ場合

- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
- のりなどがはみ出した場合、故障の原因になります。特に、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してから、ご使用ください。

■ 保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。

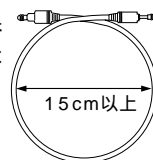
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は**「保証とアフターサービス」**(**P.69**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

光ファイバーケーブル(別売り)取り扱い上のご注意

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さは3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

困ったとき！？

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	ページ
電源が入らない。	電源コードをコンセントに正しく接続してください。	P.15, 16
ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	• ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • ディスクをクリーニングしてください。 • リージョン No. が一致しているか確認してください。	P.25 P.71 P.6, 75
画面が映らない。	• 本体後面のコンポーネント映像出力切換スイッチの設定を受像機にあわせて**[525i (480i)]**、または**[525p(480p)]**に切り換えてください。 • 接続が正しいか確認してください。 • テレビまたはAVアンプなどの設定を、DVD再生の設定にしてください。	P.19, 60 P.19, 20
再生できない。	• ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください。 • 本機の内部の結露を除去してください。 • ディスクを表裏正しく入れてください。	P.71 P.25 P.5 P.71
DVDオーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
設定内容が消える。	電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードは必ず本体の⏻**スタンバイ / オンボタン**、またはリモコンの**電源ボタン**を押して、表示窓の"**--OFF--**"表示が消えてから、抜いてください。	
マークが画面に出る。	プレーヤーがその操作を禁止しています。	P.6
マークが画面に出る。	プレーヤーがその操作を禁止しています。	P.6
セットアップ中に DVD マークが画面に出る。	CDやビデオCDが入っているとき、DVDでしか働かない項目を設定しようとしている。	P.54
リモコンで操作できない。	• 本体後面のコントロール入力端子が接続されているときは、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。 • リモコンの使用範囲で操作してください。 • リモコンの電池を新しいものと交換してください。	P.12 P.9 P.9
デジタル出力から96kHzで出力できない。	ディスクによっては、リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているものがあります。このようなディスクでは、初期設定画面の**[音声1]**の**[リニアPCM出力]**の設定を**[ダウンサンプリングオフ]**にしていても、デジタル出力を自動的に48kHzに変換しています。	P.55

症状	原因 / 対策	ページ
スピーカーから音が出ない、音が歪む。	• 音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • デジタル接続しているときは[**デジタル出力**]の設定を[**オン**]にしてください。 •[**音声 1**]の設定により、音が出ない場合があります。 • ディスクをクリーニングしてください。 • 一時停止またはスロー再生になっていたら再生にしてください。 • テレビ、または AV アンプなどの音量が最小になっているときはボリュームを上げてください。 • 接続プラグの差し込み方が不十分、または外れていないか確認してください。 • 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。	**P.15-18** **P.55** **P.54, 55** **P.71** **P.35, 37**
デジタル音声が出力されない。	DVDオーディオのダウンミックスを禁止しているディスクでは、デジタル音声は出力されません。	
初期設定画面を表示すると画面が縦長になる。	レターボックス、またはパンスキャンで再生中に初期設定画面を表示すると、画面サイズが強制的にワイドに変換されます。これは故障ではありません。	
画面が縦または横に伸びている。	[**テレビ画面**]の設定を合わせてください。	**P.60**
DVD と CD で音量差を感じる。	これはディスクの記録方式の違いによるものです。	
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	**P.15, 19**
DVD映像をVTRに録画したり、VTR を通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTR に録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	**P.15, 19**
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。	
フレームサーチができない。 フレーム番号が表示できない。	• 初期設定画面で[**フレームサーチ**]を[**オン**]にしてください。 • フレームサーチは DVD でのみ行うことができます。 • フレーム番号は DVD でのみ表示させることができます。 • フレーム番号は DVD の一時停止、またはコマ送り再生時に表示されます。	**P.63** **P.50**
指定したフレームにサーチできない。 コマ送り再生時、フレームが抜けてしまう。	24コマフィルムのプログレッシブ映像が記録されているディスクの場合、24コマを0～29 フレームの 30 フレームにあてはめるため本機では、5 フレームに 1 度の割り合いで指定したフレーム番号が抜けます。抜けているフレーム番号にサーチを行うと、次のフレーム番号にサーチされます。また、コマ送り再生中も指定したフレーム番号が抜けます。これは上記と同様に表示はフレーム番号が抜けますが動作上コマ落ちしているわけではありません。これは故障ではありません。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

その他

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは 4：3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは 16：9 の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース（飛び越し走査）
映像の 1 画面を半分ずつ 2 回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて 1 画面（フレーム）を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに“ i ”を付けて（525i等）表記してあります。

コンポーネント映像出力
Y/CB/CR の 3 つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル（dB）単位で測定されます。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大 5.1 チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

DOLBY DIGITAL

本機はドルビーデジタルデコーダーを搭載していますので、5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプにつなぐことで、すぐにドルビーデジタルを楽しむことができます。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です（アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります）。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ（順次走査）
映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では、解像度の数字の後ろに“ p ”を付けて（525p等）表記してあります。

ボーナスグループ
DVD オーディオでは、4 桁の番号（キーナンバー）を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の 1 つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVD には同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニアPCM

PCMはPulse Code Modulationの略です。リニアPCMとは圧縮してないPCM信号です
DVDの音声記録方式の1つです。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

D端子

D端子とは、映像信号(Y、C_B、C_R)と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続できる端子です。

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの1つです。

本機はDTSデコーダーを搭載していますので、5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプにつなぐことで、すぐにDTSディスクを楽しむことができます。

DVDオーディオ / ビデオの静止画

DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には2種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。
なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

F-Disc（エフディスク）

8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。
お問い合わせ先：（株）フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI

Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDの映像やビデオCDの映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1映像出力

S1とは映像のアスペクト比（4:3、16:9）の識別信号の入ったS映像信号です。

S2映像出力

S2とは映像のアスペクト比（4:3、16:9）と画像信号形態（レターボックス、パンスキャン）の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

5.1ch

フロント左 / 右、センター、リア左 / 右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタル、DTS、またはDVDオーディオといったサラウンドシステムで採用されています。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

P.72, 73に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所 「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- 電話番号
- 製品名 DVD プレーヤー
- 型番 DV-S838A
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容 「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

形式 .... DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-RW、ビデオCD、CD
電源 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 25 W
1 W以下(待機時)
本体質量 .... 9.0 kg
外形寸法 .... 420(幅)×371(奥行)×130(高さ)mm
(突起部含まず)
許容動作温度 .... +5℃～+35℃
許容動作湿度 .... 5%～85%(結露のないこと)

S2映像出力(2系統)
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
C出力レベル .... 286 mVp-p(75Ω)
出力端子 .... S端子

映像出力(2系統)
出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
出力端子 .... RCA端子

コンポーネント映像出力(Y/CB/CR)
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
CB/CR出力レベル .... 0.7 Vp-p(75Ω)
出力端子 .... RCA端子

D2出力端子
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
CB/CR出力レベル .... 0.7 Vp-p(75Ω)
出力端子 .... D端子

音声出力(2CH、2系統)
音声出力レベル .... 200 mVrms(1kHz、−20dB)
チャンネル数 2
出力端子 .... RCA端子

マルチチャンネル音声出力(リアL/R、センター、サブウーファー)
音声出力レベル .... 200 mVrms(1kHz、−20dB)
出力端子 .... RCA端子

デジタル音声出力特性
周波数特性 .... 4 Hz～88 kHz(DVDオーディオ、192 kHz)
S/N比 .... 115 dB
ダイナミックレンジ .... 110 dB
全高調波歪率 .... 0.001 %
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
(±0.001%W.PEAK)

デジタル出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
同軸デジタル出力 .... RCA端子

その他の端子
コントロール入力/出力 .... ミニジャック(3.5 φ)

付属品
音声ケーブル 1
映像ケーブル 1
電源コード 1
リモートコントロールユニット 1
単3形乾電池(R6P) 2
取扱説明書、保証書、安全上のご注意、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 各1

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

初期設定画面の項目別さくいん

初期設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

お知らせ

- ▮は出荷時の設定を表わします。
- （網掛け）の設定は初期設定モードが[エキスパート]のときに表示される項目です。

その他

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

アルファベット

本機の接続、操作、技術相談に関するお問い合わせは(全国共通フリーコール)

テクニカルサポートセンター　**0088-22-8102**

受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00（ただし、土曜日、日曜日、祝日、弊社休日は除く）

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

- ● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　**0070-800-8181-22**
- ● カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
- **・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **・電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **・電気が入ったり切れたりする。**
- **・本体から異常な音、熱、臭いがする。**

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型番	DV-S838A

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社 〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TWKZF/00K00000>　<VRA1179-A>